

秋の紅葉は、その名全道に高く、各地より杖を曳くものが多い。此處は今より五百八十餘年前、李王朝の太祖が、都を定めようとして、皇居を建てる計畫まであつたが、或夜太祖が夢告によつて、今の京城の地に移る事になつたと云ふのだ。現在でも、巨大な礎石が數個残つてゐて、その昔を偲ばせるに十分である。土地の人々は、常に夫を見て、京城を羨むのである。山中には、甲寺、東鷄寺、新元寺等忠清南道の名刹がある。甲寺の七堂伽藍は、壯嚴を極め、山門の邊りの眺望は、頗る雄大曠濶で、八州の山河を一眸の裡に收めるのだ。又この地には、古高麗として、好事家の間に、珍重がられる陶器の窯元があつたらしく、内地から態々見學に来る者もあると云ふ。

泉質效能

ラヂウム・エマナチオンの含有量多き單純泉で、温度四十五度内外。神経痛、胃腸病、婦人病、痔疾、皮膚病に特效があり、心臓病、慢性肋膜炎等にもよい。

旅館・經費

鳳鳴館(新温泉)、杉山旅館(舊温泉)、勝利館、常盤館、及び朝鮮旅館七戸。宿泊料は、新温泉は三圓五十錢乃至六圓見當。舊温泉は三圓乃至五圓位である。

溫陽溫泉

(忠清南道牙山郡溫陽面溫泉里)

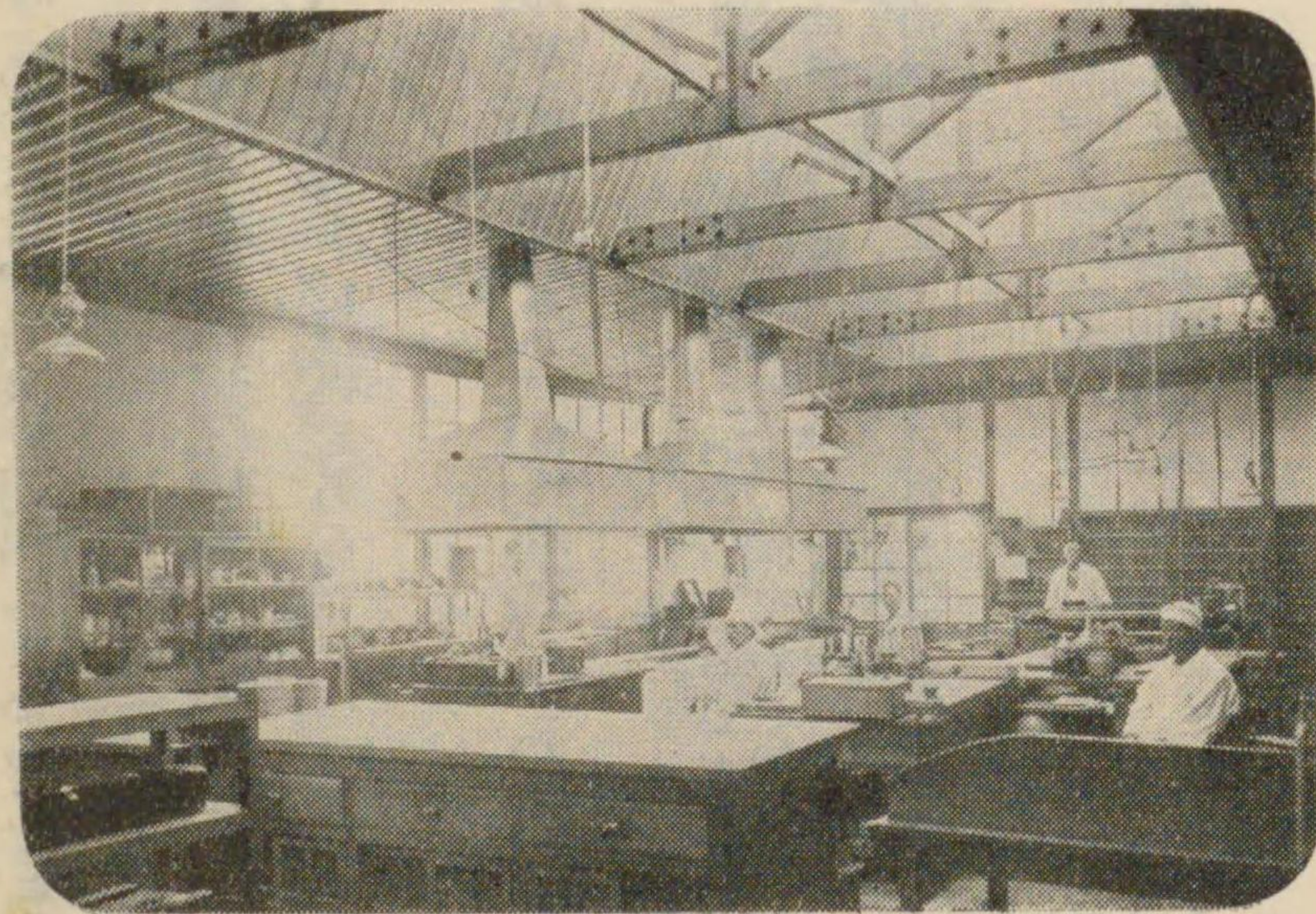
京釜本線天安驛で京南鐵道に乗換へ、溫陽溫泉驛下車。

京城から汽車三時間餘、日曜、祭日には直通列車の運轉もある。

古くから知られた溫泉場で、遠く高麗時代の發見に係ると言はれ、李王朝時代には顯宗帝をはじめ、歴代諸王の來浴があつた。

地は四方に丘陵性の山々を繞りて風光に富み、緩やかに流れる曲信川の畔にはアカシヤが繁り、鶺鴒が鳴いてゐる。

大正十五年頃、京南鐵道株式會社の經營に屬すと共に、新に泉源を發掘し、現在は一日の湧出量一萬數千石に達



溫陽溫泉の厨房



してゐる。面白いのは湧出口の傍、僅かに三尺を隔てたところからは、冷泉が湧出してゐることである。

附近には神井碑、涵樂堂等李王朝中古の建造物も遺つてゐるし、志士金玉均の墓、李舜臣の墳墓もある。又、日清戦役で有名な牙山あたりまで出掛けるに、都合のよい行程である。

名物土産物 蜆汁、公魚の天麩羅等。

泉質效能 無色透明の單純泉で温度四十五度。筋及び關節諸病に特效あり、慢性濕疹、ヒステリー、婦人病、腺病等にもよい。

旅館・經費

神井館は宿泊料と室料制とに分れ、旅館部は一泊五圓、室料制によれば一日一室二圓半、乃至三圓半、定食和食は朝一圓、晝一圓二十錢、夕二圓。洋食は朝一圓、晝一圓半、夕二圓半。その他、温陽館、石田、廣陽館等數十軒の大小旅館あり、宿泊料は一定せざるも二圓半乃至五圓見當。

信川温泉

(朝鮮黃海道信川郡温泉面温泉里)

黃海線信川温泉驛の東南五町、自動車、俵の便がある(京義本線沙里院、信川温泉間 賃一圓三錢)。

信川平野の中央に位し、四方は曠濶な沃野で、東南には長壽山の秀峰巍峨として聳え、鋸齒の如き九月山の連嶺は北西の空遙かに横はつてゐる。

今から五百年前、温泉一帯の地が湖沼であつた頃から、熱湯が噴出してゐて、白鷺などが飛來しては病傷を養つたものと云ふ。そして、こゝでも古名を白鷺温泉と稱したといふのだから、朝鮮でも内地でも、發見傳説には餘り變りのないことが知られる。

現在は二つの共同浴場があり、一つは面營、一つは個人經營で、何れも入浴料を徴してゐるのだが、設備の點に於ては間然するところがない。三十四ヶ所の湧出口から豊富に噴出する肌ざはりのよい湯は、常に浴槽に溢れてゐる。又、こゝは北鮮としては珍しく暖かな處で、積雪少く又附近の原野には鳥獸頗る多い。

料理屋、旗亭といつたものは六七軒ある。

泉質效能

無色透明の單純泉で、弱アルカリ性反應を呈し、温度は五十度乃至五十八度。外傷諸障害、リウマチス、皮膚病には特效がある。その他胃腸病、官能性神經病、脊髓病、婦人病によい。

旅館・經費

信川ホテルは朝鮮鐵道の直營で、一泊二圓五十錢乃至六圓、三食附なら三圓五十錢乃至七圓。その他、竹中、根本、大黒屋の三旅館は内地人經營で、一泊二圓乃至四圓、中食は約其半額、いづれも内



湯がある。  
白鷺、温泉、大成、平壤、鳳山、金陵、大昌、西鮮等の旅館は朝鮮人經營のもので、多くは内湯なく、宿泊料一泊一圓乃至一圓半。

### 三 泉 温 泉 (朝鮮黃海道信川郡弓興面)

黃海線三泉温泉驛下車。

從來、交通不便の爲多く知られなかつたが、昭和四年十一月、信川から水橋に至る鐵道の延長線がこゝを通過するやうになると共に、浴客激増の傾向がある。

九月山、雲鷄山等の近くに聳ゆるあり、浴場は送九月の丘陵を負ひ、眺望に富む。  
送九月の丘と云ふのは、恰度臥牛が九月山を見送つてゐるやうな形をしてゐるからだ。  
前面の田は温泉が流出するので、冬も凍らないから、鴨などが來集する。又附近には雉の好狩獲場もある。

尙、同面龍川里にも温泉の湧出を見、  
**温井洞温泉** と稱してゐるが、里人の入浴する位のもの

で、未だ浴室の設備等はない。

**泉質效能** アルカリ性炭酸泉で、外傷、リウマチス等には特效がある。

**旅館・經費** 大黒屋旅館の他、數軒の朝鮮人經營の旅館もある。設備は整つてゐるとは云へないが、浴客が不便を感じるやうなことはない。宿泊料一泊二圓程度、朝鮮人經營のものは一泊一圓見當。

### 達 泉 温 泉 (朝鮮黃海道信川郡温泉面温泉里)

三泉温泉驛の北方一里餘、自動車の便がある。

山頂鋸齒の如き奇形を呈せる九月山の麓にあつて、溪流に沿ひ、附近一帶は悉く白砂青松の地である。

傳説によれば、新羅王朝時代岩間を走る湯の流に雲雀が飛來しては浴してゐたのが基で、發見したのだと云ふ。鮮語では雲雀のことをジョンタルと云ふ。従つてこの邊ではジョンタル温泉と呼ぶのである。

浴場は現在二ヶ所、一は鮮内稀に見る瀑泉で、飛泉の下に立てば、自然のマッサージをすると同



じである。旅館には相當設備の整つた家もあり、登山期には九月山登山客で賑ふ。

九月山。山頂迄、達泉温泉から略一里、古名を阿斯達山と云ひ、信川、安岳、殷栗の三郡に跨り、秀麗九百九峰、遠望すれば鋸齒の如し、最高峰は海拔千米突弱、至る所白砂で、爲に白嶽の稱がある。千年外の樹木鬱蒼として繁り、山麓より漲ぎり落つる溪流は涼々として山谷に舒し、頗る幽邃境である。王都の遺墟及び神仙と化したと傳へられる檀君の臺趾を存す。山下雲溪洞にある寒山寺は、千年の古刹で、朝鮮三十本山の一、別名貝葉寺とも云ふのだ。月精寺、五更樓のあたりに佇めば、溪聲松籟に和し、眞に羽化登仙の感がある。

泉質效能 炭酸泉に屬し、胃腸病、貧血症、デストマ等に特效あり、腰痛、婦人病等にもよい。  
旅館・經費 達泉旅館、碧城館の外數戸。宿泊料一泊八十錢乃至一圓。

### 松禾温泉 (朝鮮黃海道松禾郡蓮井面板橋里)

黃海線の終點水橋驛から一里半、自動車約十分(沙里院、水橋間、賃二圓二錢)。  
こゝは最近著しく活氣を呈してゐる。

山間溪流に枕んだ温泉場で風光明媚、後山に群雉の聲を聞き、前川に細鱗の潑刺を見る、其閑雅

な佛は、鐵道の開通と共に、次第に失はれるが、豊富な泉量を擁して、着々設備を整へ、近く近代的な温泉場たるべく期待されてゐる。

冬の狩獵、夏の釣魚は共に浴客の娯樂とする處だが、近く樂山、濱田の二金礦も一見する價値は有る。

泉質效能 硫黄泉で、温度四十五度。胃腸病、外傷、婦人病に特效あり、皮膚病、リウマチス等にも

よ。 旅館・經費 樂山館、柳屋等。十數戸の内鮮旅館あり、宿泊料は内地人の經營旅館は一泊二圓乃至五圓。朝鮮人旅館は一泊六十錢乃至一圓。

### 安岳温泉

黃海道安岳郡銀紅面温井里にあり、屹紅温泉ともいふのだ。安岳邑内の西北約三里半、猪島から三里、交通の便はよいとは云へないが、相當繁昌してゐる。近時浴場も新築改善せられ、内鮮旅館も數戸ある。

温度も七十度、鮮内有數の高温單純食鹽泉で、皮膚病、痔疾、性病、神經痛に效く。



馬山溫泉 (朝鮮黃海道甕津郡馬山面溫泉里)

黃海線信川驛から自動車、賃三圓七十錢。▼又、京義本線沙里院驛、開城驛からも自動車の便あるも、賃六圓乃至六圓五十錢位。

驚くべき豊富な泉量に恵まれるから、附近一帯何處を掘つても湯が湧き出す。子供の出来る温泉として知られてゐる爲、婦人の入浴するものが多く、野天の天然浴場にのんびり浸つてゐる處なぞ野趣があつて面白い。

十一月から四月頃までの間には、その野天風呂の眞上を、數百羽の鶴が群をなして飛び過ぎるのを見かける。

海鼠漁場として有名な龍湖島はこゝから五里の處にある。

泉質效能 無色透明の食鹽類泉で高温。不妊症、皮膚病、痔疾に特效がある。

旅館・經費 萬屋、龜屋は宿泊料二圓乃至三圓半、その外に鮮人旅館數戸ある。

溫井院溫泉

黃海道平山郡積岩面溫井里にあり。單純泉にして胃腸病によいと言はれる

が、未だ浴舎の設備はない。

龍岡溫泉 (朝鮮平安南道龍岡郡海雲面溫井里)

京義本線平壤驛で平南線に乗換へ鎮南浦驛下車、それより約六里半、自動車、賃八十二錢。▼同線眞池洞驛の西五里、自動車九十五錢。

龍岡邑の西方三里許り、青井洞に湧出するもので、泉量は極めて豊富である。平壤、鎮南浦あたりの人達がよく出掛ける所だが、干潟地の間に在るから山水の美の見るべきものは無い。然し周圍には種々の舊蹟があるから、巡覽にはよい。則ち黃龍城趾、眞池洞附近にはドルメン式の古墳を始め、樂浪の遺物多く、先年關野貞博士が苦心調査の結果、我國最古の碑たることを發表された黏蟬碑は、溫泉から東方約一里、雲洞面城峴里にある。

泉質效能 無色透明の強鹽類泉で、泉源温度六十七度。胃腸病、神經衰弱、リウマチスには特效あり、

子宮病 半身不隨等にもよい。

旅館・經費 靜養館、只繩旅館、三吉旅館の外、鮮人旅館は十數戸。宿料一泊一圓半乃至二圓半(内地人)。



一泊一圓二十錢(鮮人)。

### 陽 德 溫 泉

(平安南道陽德郡九龍面溫井里)

平壤を起點とする平元西部線新倉驛下車。平壤、新倉間約三時間、賃一圓二十三錢。平壤驛より直通自動車の便がある。

陽德郡新邑の東北約二十町、大岸山麓にある閑靜な溫泉場で、溪流美に富んだ周圍の風光は、豊の耶馬溪を思はせるものがある。

此所は近時急に有名になつた處だが、共同浴場の外に内湯旅館があり、設備も整つてゐるので平壤、元山方面からの浴客が多い。別に附近には名所舊蹟といふべきものはないが、溫泉場それ自身、風光に恵まれてゐるのだから、浴後の散策には周圍の大湯池、小湯池あたりをぶらついただけでも、俗腸を洗ふには充分だ。平元鐵道が全通するやうになつたら、こゝは新興名勝地として今よりも多く、名を知られるに至るだらう。

#### 名物土産物

松の實、松茸。

#### 泉質效能

アルカリ性反應を呈する單純泉で、溫度泉源に於て五十七度。内服すれば胃弱、便秘等によく、浴用としては慢性リウマチス、外傷性諸障害、慢性濕疹、ヒステリー、神經衰弱、婦人病に效く。

#### 旅館・經費

九龍閣旅館の外に鮮人旅館十數戸。宿泊料は一泊二圓半乃至四圓見當。鮮人旅館は一日一圓位。

### 金 剛 山 溫 泉

(江原道杆城郡北面溫井里)

元山から東海岸線に依り欽谷驛に下車、溫泉まで二十里は自動車、賃三圓八十錢。

又は海路、元山から長箭迄朝鮮郵船の連絡船に依り、長箭に上陸、それより溫井里迄二里餘、自動車賃五十錢。

世界に八金剛あり、中七金剛は海中に隠れ、一金剛のみが海東朝鮮に出現したものと稱され、金剛山は實に世界的奇勝となつた。

溫井里は、この大金剛山の東麓に位し、觀音連峰、水晶峰、文筆峰等の秀嶺を三面に繞して風光怪奇、溫泉場としてよりも金剛登山の策源地として知られてゐる。従つて、登山期以外には滅多に



浴客を見ない、旅館も閉鎖されてはるるが、設備の點に於ては、殆んど間然するところなき大ホテルなどもある。快く浴槽に浸つた後で、ホテルの窓に立つて、暮れゆく空を眺めてみると、水晶峰は紫の霞に包まれ、寒霞溪一帶の谿山は、恰も白い絹を引きはつてゐるやうだ。明日の快晴を祈りながら、金剛一萬二千峰の景情に觸れる悦びを前提として、漸く夢に入る情致は、此温泉にして始めて體得される山水味である。

海金剛の勝地は、温泉の東四里、自動車の便がある。

泉質效能

微温の弱鹽類泉で無色透明、胃腸病、リウマチス等に特效がある。

旅館・經費

温井里ホテル（鐵道局直營）は室料米國式に依れば一日二圓乃至六圓、歐州式一日七圓乃至

十一圓。食事は朝一圓半、晝二圓、夕二圓半。嶺陽館、萬龍閣、松月館は一泊三圓乃至七圓、晝食一圓二十錢以上。

朱乙温泉

（咸鏡北道鏡城郡朱乙温面温泉洞）

咸鏡中部線朱乙驛の西北約三里、自動車、賃四十錢。

この地方では朝鮮の別府と呼んでゐる。泉量頗る多く、一日の湧出一萬四千石を超え、旅館では幾ヶ所にも浴場を設けた上に、床下にも湯を引いて暖房装置に利用してゐる。炊事にも、洗濯にも雑巾をかけるにも、温泉を使つてゐるのだが、それでも使用しきれず、ドン／＼谿間に流れ込んで、數町の間といふものは盛に湯煙をあげ、附近一帶の地をうるほしてゐるので、周圍に天然の温室を出現させ、あの寒氣酷烈な北部朝鮮の中でありながら、四時草木青々と繁るのは奇觀である。

朱乙とは女眞語の温泉と云ふ言葉に當る。

今は、朱乙温川に沿つた人家四十戸ばかりの小部落だが、往昔女眞族の亂に具ふる爲、李朝世宗はこの地に鎮堡を築き、守城軍を置いた。東にはムナヤツコリ、西にはウワヤテキ、北にツーリンボン等の諸峯を繞し、一見要害の地であると共に、風光優秀な地である。

明治四十四年以來、第十九師團の療養所を置かれ、旅館はいづれも宏壯な建物で、設備もよく整つてゐる。

附近曳杖地としては、朱乙温川上流には幾多の奇勝がある。半月島、吾心巖、立岩、石門瀑等は尤なるもので、四圍の峯巒は溪流と相俟つて一仙境を成し、春は碧柳蒼苔を洗ひ、夏は薰風樵徑を封じ、秋は極目紅霞鮮かにして、冬曉仰けば陽は輝いて雪嶺清しと云ふ底の變化に富んだ佳



景を<sup>けい</sup>見<sup>み</sup>せてゐる。

泉質<sup>せんしつ</sup>效能<sup>てうねん</sup>

アルカリ性<sup>えんるんせい</sup>鹽類<sup>えんるん</sup>泉<sup>せん</sup>で溫度五十五度。リウマチス、痛風<sup>つうふう</sup>、生殖器<sup>せいしよくき</sup>疾患<sup>しつかん</sup>、創傷<sup>そうじやう</sup>等に特效あり、慢性<sup>まんせい</sup>胃病<sup>胃病</sup>、膀胱<sup>ぼうたう</sup>カタル、呼吸器<sup>こくき</sup>病<sup>びやう</sup>等にもよい。

旅館<sup>りやうきん</sup>・經費<sup>けいぎ</sup>

鮮仙閣<sup>せんせんかく</sup>及び別館<sup>べつくわん</sup>、千歳館<sup>せんざいくわん</sup>、小倉館<sup>こくらくわん</sup>の外、朝鮮<sup>ちやうせん</sup>旅館<sup>りやうきん</sup>五戸。宿泊料<sup>しゆぱくりやう</sup>一泊二圓乃至六圓、中食<sup>ちゆうじき</sup>一圓乃至二圓半。貸室<sup>かかしつ</sup>の制<sup>せい</sup>もあり、室料<sup>しつりやう</sup>一坪一圓四十錢。朝鮮<sup>ちやうせん</sup>旅館<sup>りやうきん</sup>は一泊一圓見當。

列<sup>カネタ</sup> 温泉<sup>おんせん</sup> 泉

朱乙<sup>しゅおつえき</sup>驛<sup>えき</sup>から朱乙<sup>しゅおつえき</sup>温泉<sup>おんせん</sup>へ行く途中<sup>ちゆうちゆう</sup>、驛<sup>えき</sup>から約半里<sup>やくはんり</sup>の地點<sup>ちてん</sup>にあり、砂湯<sup>すなゆ</sup>があるので人に知られてゐる。

その他<sup>た</sup>、朱乙<sup>しゅおつえき</sup>温泉<sup>おんせん</sup>面龍<sup>めんりゆう</sup>郊洞<sup>かうどう</sup>には

温<sup>オン</sup>水<sup>スイ</sup>坪<sup>ハイ</sup>温泉<sup>おんせん</sup>

同面<sup>どうめん</sup>甫岩<sup>ふがん</sup>洞<sup>どう</sup>には

湯<sup>トイ</sup>池<sup>チ</sup>水<sup>スイ</sup>温泉<sup>おんせん</sup>

ある

も、部落<sup>ぶらくじん</sup>人<sup>じん</sup>の入浴<sup>にふよく</sup>に便<sup>べん</sup>する位<sup>くらゐ</sup>のもので、浴舎<sup>よくしゃとう</sup>等の設備<sup>せつび</sup>は不完<sup>ふくわん</sup>全<sup>ぜん</sup>なものだ。

○

三角山<sup>さんかくさん</sup>は浮氣<sup>うき</sup>な山<sup>やま</sup>よ

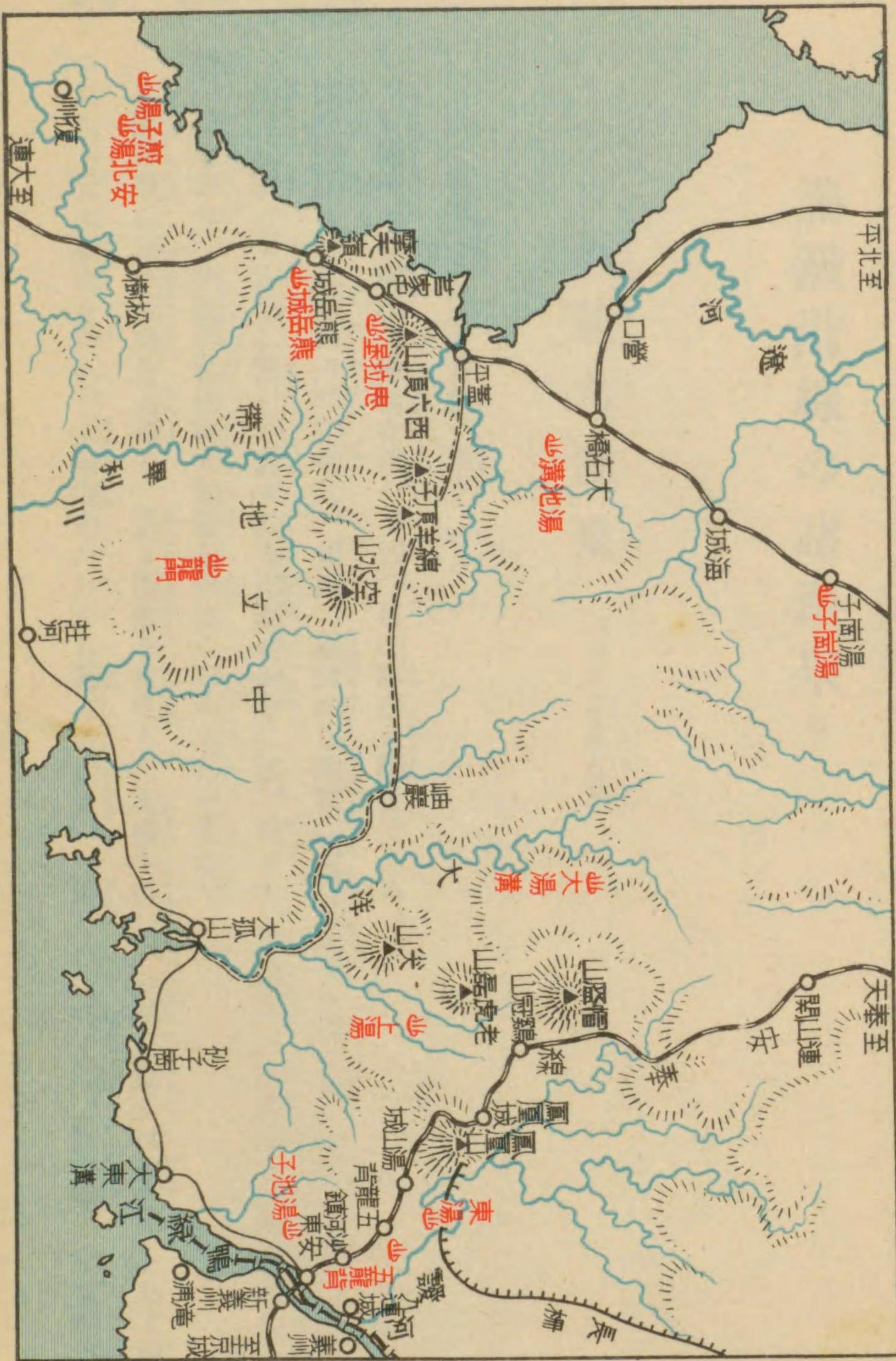
雨が降<sup>ふ</sup>るやら降<sup>ふ</sup>らぬやら

情通<sup>じやうつう</sup>るか幼<sup>こ</sup>い夫<sup>つま</sup>

抱<sup>かか</sup>いて寝<sup>ね</sup>たとてしやうもない。

(朝鮮<sup>ちやうせん</sup>民<sup>たみ</sup>謡<sup>うた</sup>)

泉<sup>せん</sup>温<sup>おん</sup>諸<sup>しよ</sup>の<sup>の</sup>川<sup>せん</sup>溝<sup>こう</sup>





# 滿鐵沿線の諸温泉

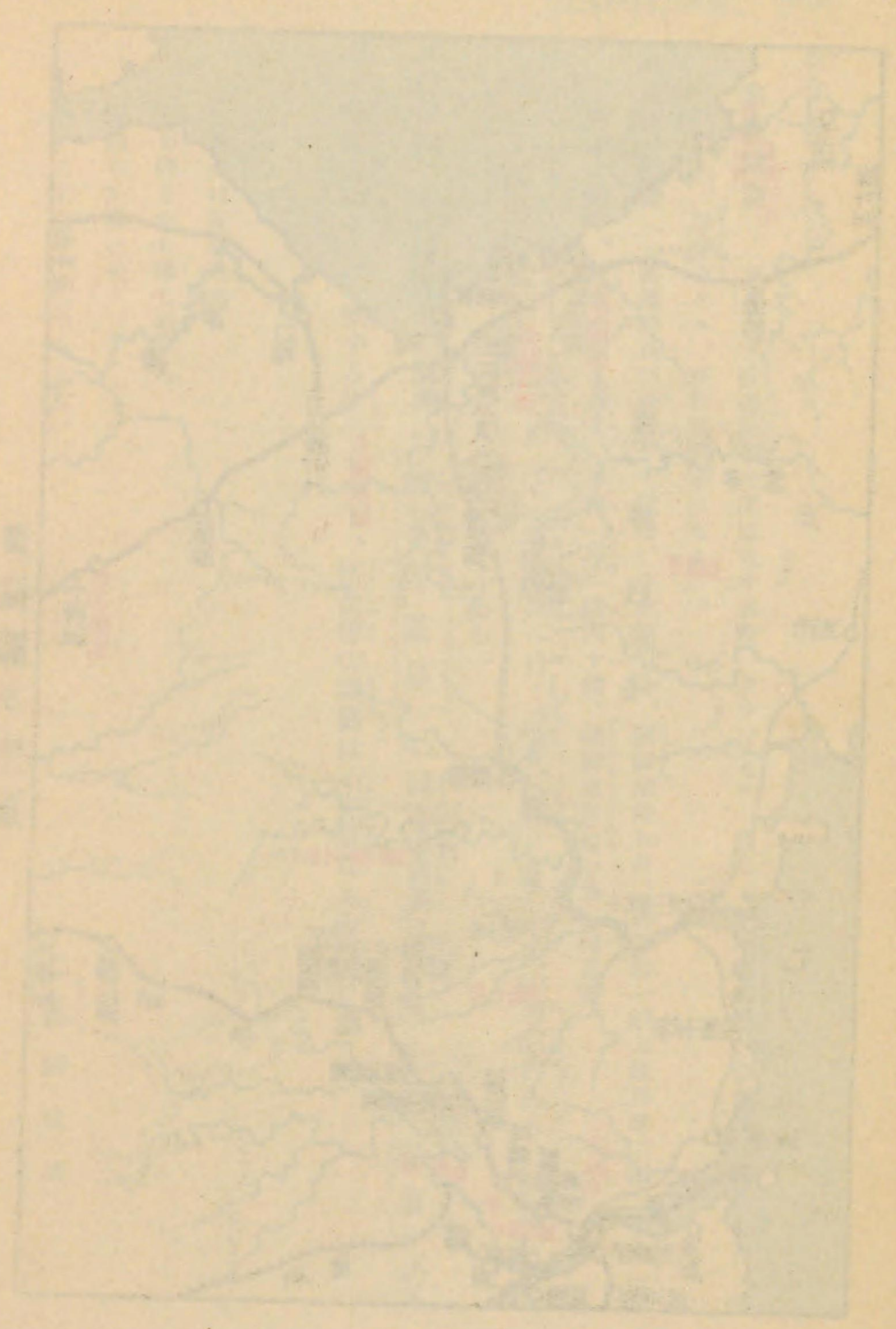
## 五龍背温泉

(Wu-long-pei)

滿鐵安奉線五龍背驛の東方二町。

朝鮮國境の鴨綠江の鐵橋を渡り、四つ目の驛が五龍背である。  
 温泉の湧くのは沙河々畔の地で、周圍の展望頗る閑雅、浴舎は丘阜を負ひ池を擁して建てられる。  
 清流に沿うて左右に開けた蒼々たる田圃の彼方には、峩々たる五龍山、伏羲山一帶の重疊たる山  
 巒の連るあり、四顧の風物轉た故國を偲ばしむるものがある。

日清の役に我軍此處を占領し、偶々温泉を發見して征塵を洗ひ、日露の役には療養所として利用  
 されたと云ふ歴史を持ち、安東縣あたりから遊ぶ者が多い。近くには孔子廟、關帝廟、喇嘛廟等著





名の建築物がある。鳳凰城迄は汽車一時間の行程、紅葉に名高い五龍峯、鳳凰山もある。

泉質效能 無色透明のアルカリ泉で、痔疾、皮膚病、リウマチスには特效がある。

旅館・經費 五龍閣は規模相當に大きく、日歸り浴客の爲の衆樂館（一日五十錢）滞在客の爲には自炊旅館養老館を設けてある。宿泊料一泊四圓乃至八圓。

安奉線沿道には尙ほ次の諸温泉がある。

湯池子温泉

（安東縣）は安東から大東溝に通ずる大道を南西に進む事約三里、大道に近く水田中に湧出するもので、極めて簡単な木製の浴槽と脱衣場がある。

りだ。

しかし、附近帽盔山（一五〇米）に登れば展望極めて開濶、安東、新義州は指呼の内にあり、鴨綠江の悠々たる流れに浮ぶ眞帆、片帆の影を望むことも出来る。

東湯温泉

は五龍背の次驛湯山城の北東三里餘、湯川の沿岸聖樂寺にある。湯量と泉温に於ては滿洲第一の温泉と云はれてゐるが、設備の見るべきものがない。

上湯温泉

（鳳城縣）、安奉線鶏冠山驛の西南八里餘、廟嶺溝から流れ出る谷川の畔に湧出。鶏冠山から一日がかりで行く。しかし浴槽は綺麗だ。近くに料理兼業の旅舎もある。極く清澄なアルカリ性泉で、無味、殆んど無臭、肌ざはりのよい湯である。

大湯溝温泉

は鶏冠山驛の西北八里餘、大洋河支流の沿岸に。柳河温泉は鐵礦で有名な弓張嶺附近に湧く。しかし、この二つは交通の關係上まだ浴客も少く、設備も不完全の域を脱してゐない。

熊岳城温泉

(Shung-yao-cheng)

滿洲線熊岳城驛の東南二十四町、トローリ馬車の便あり、賃二十錢。

温泉の湧出するのは、熊岳河の河床で、城市とは反對の側に當る。その邊は滿洲には珍しい翠綠滴るばかりの樹林に圍繞され、東方には摩天嶺の連嶺遠く延びて、長白山脈に連つてゐるが、西方は廣漠たる大平原で高梁高く繁つてゐる。

ホテルの内湯は、其河底から導いてゐるのだが、河水は極めて清澄、浅い流れで、河砂を掘ると



隨所から湯を噴き出すので、浴客の多くは自由に砂の中に半身を埋め、恰ら別府の砂風呂と云つた觀を呈してゐる。満鐵では毎歳夏季には沿線各地の小學生を集めて、温泉林間學校を催す。又、日歸浴客の爲には公衆浴場、休憩所を設けてゐる。

泉質效能

無色透明のアルカリ性泉で、リウマチス、濕疹、ヒステリー、神經衰弱、貧血症等に效く。

旅館・經費

温泉ホテル。室料本館二圓半乃至六圓、二號館一圓半乃至二圓、食料一圓半乃至二圓。外に熊谷旅館。

龍門温泉

熊岳城の近く許家屯驛の東南約一里半、龍口河の畔にあり、河中より温泉の湧出することは熊岳城に同じ。昔、蛟龍此地に飛來つて暫し潜んでゐたと云ふ傳説から、龍門湯の名を與へられたものであるが、旅舎の設備は整つてゐない。

湯崗子温泉

(Tang-kan-tsu)

滿洲線湯崗子驛の東北八町。

平圃の間に湧出する温泉で、附近には湯河甘泉堡などと云ふ地名のある處から考へても、古くか

ら知られてゐたものである。然し邦人が入浴したのは日露役後のことで、以前はロシア人が此處に大規模な療養所を設けてゐた。今は滿鐵の經營から離れ、温泉會社の手に委せられてゐるが、浴場その他宿舎等の設備に於ては、殆んど間然するところなく、滿鐵沿道第一の温泉と云ふばかりか、内地にもこれ程の處はあるまいと土地の人は云つてゐる。

現在、清林館で用ゐてゐる浴槽は、ロシア人經營時代のもので、宏大な結構である。

名山千山はこゝから東方五里、日歸りで出掛ける浴客が多い。

泉質效能

無色透明のアルカリ性鹽類泉で、リウマチス、皮膚病、婦人病、腺病等に特效がある。

旅館・經費

湯崗子温泉株式會社經營の對翠閣は室料三圓半乃至五圓、定食、朝一圓半、晝夕二圓。玉泉館は滞在自炊客向で、室料一圓半乃至二圓半、定食朝一圓、晝夕一圓半、自炊一日一圓見當。

尙、日歸客の爲には清林館あり、室料一人一日五十錢、辨當五十錢より八十錢。その他民國人の爲の龍泉別墅もある。

その他滿洲線沿道には次の諸温泉の湧出を見るも、設備の不完全を免れず、邦人の入浴する者は僅少である。



安北湯溫泉

(復縣)滿洲線松樹驛の東方復州河の右岸數十間に互り、不規則に湧いてるものだが、現在では二坪程の石疊の露天浴場あるに過ぎない。清澄なア

ルカリ性泉で温度は六十度内外である。浴客は附近の旅舎から通つてゐる。

煎子湯溫泉

(復縣)安北湯の東北約三里半の地點にあり、湯は丘阜上娘々廟の傍より湧出し、石造家屋内にある二坪程の一個の浴槽が、その設備の總てである、泉質は安北湯と大差なく、温度は五十二度内外。

思拉堡溫泉

(蓋平縣)滿洲線蘆家屯驛から一里半餘、思拉堡村落の南面、河床の砂地から湧くので、別に浴槽を要せず、直ちに沙浴するのである。通りすがりの旅人が、傍に荷物を捨て、砂を掘り、悠悠澡浴するなどは、滿洲風景として面白いではないか。

湯池溝溫泉

(岫巖縣)民國人の間には可也古くから知られた溫泉で、滿洲線大石橋驛から約三十三里、湯池溝の村落に湧くのだから、交通の便には恵れてゐない。石造の浴槽三個、すぐ近くに旅舎もあるので、相當の浴客がある。温度五十九度のアルカリ性泉で、湧量は可也多い。

溫泉名索引 (五十音順)

- ◇一段低き小文字は東部篇溫泉名です
- ◇ゴシックの文字は溫泉郷を示したるものです
- ◇溫泉名二つあるものは出来るだけ兩者を掲出しました

ア

青木 鑛泉	一八六	淺間 溫泉	一一九
青島 溫泉	六七	麻布 鑛泉	二〇
赤倉 溫泉	五	阿曾原 溫泉	二〇四
赤島 溫泉	三二	阿母平 鑛泉	六六
赤瀨 鑛泉	五八	鮎川 溫泉	三三
赤湯 溫泉	四	嵐山 鑛泉	二八八
阿久根 溫泉	五四	有明 溫泉	一四〇
朝日 溫泉	五五	有福 溫泉	三九七
		有馬 溫泉	三三六
		栗津 溫泉	二四九



- 芦原温泉……………三五六
- 安嶽温泉……………三七一
- 安代温泉……………三六五
- 安北湯温泉……………三六四
- 安樂温泉……………三六〇
- 安樂新温泉……………三六三
- 青根温泉……………(宮城)
- 青堀鑛泉……………(千葉)
- 青山温泉……………(北海道)
- 赤川温泉……………(秋田)
- 赤川温泉……………(青森)
- 赤倉温泉……………(山形)
- 赤澤温泉……………(宮城)
- 赤瀧鑛泉……………(栃木)
- 赤湯温泉……………(宮城)
- 赤湯温泉……………(山形)
- 阿寒湖畔温泉……………(北海道)
- 秋保温泉……………(宮城)
- 朝日温泉……………(栃木)
- 朝日鑛泉……………(山形)
- 淺蟲温泉……………(青森)
- 足附ノ湯……………(東京府)
- 芦ノ牧温泉……………(福島)
- 蘆の湯温泉……………(神奈川)
- 網代鑛泉……………(東京府)
- 熱川温泉……………(静岡)
- 熱海温泉……………(静岡)
- 熱海温泉……………(福島)
- 熱鹽温泉……………(福島)
- 温海温泉……………(山形)
- 吾妻温泉……………(山形)
- 穴原温泉……………(群馬)

- 穴原温泉……………(福島)
- 網張温泉……………(岩手)
- 雨宮温泉……………(北海道)
- 新井温泉……………(群馬)
- 新湯温泉……………(栃木)
- 荒湯温泉……………(宮城)
- 案内温泉……………(宮城)
- 飯治洞温泉……………一三三
- 硫黄谷温泉……………一六七
- 五十澤温泉……………一七一
- 生地鑛泉……………一九五
- 池田鑛泉……………三九〇
- 池ノ平温泉……………三五
- 伊作温泉……………五五七

イ(井)

- 石村温泉……………五二七
- 市來温泉……………五五五
- 市比野温泉……………五四八
- 出湯温泉……………一四
- 今板温泉……………一五
- 楫宿の温泉……………五五九
- 入來温泉……………五五〇
- 入船鑛泉……………五〇三
- 入山邊鑛泉……………一三六
- 岩井温泉……………三六〇
- 岩崎山鑛泉……………一六
- 岩下鑛泉……………一七四
- 岩間温泉……………二二七
- 岩室鑛泉……………二
- 飯坂温泉……………(福島)
- 飯田温泉……………(北海道)



梅ヶ島温泉……………二八〇  
 梅園温泉……………四三三  
 烏來温泉……………六四七  
 浦島温泉……………三三三  
 嬉野温泉……………四九七  
 雲仙温泉……………五〇六  
 宇曾利山(恐山)温泉……………(青森)  
 姥子温泉……………(神奈川)  
 姥湯温泉……………(山形)  
 榮之尾温泉……………六二五  
 惠那鑛泉……………二七六  
 海老野温泉……………六四四  
 圓行寺鑛泉……………四三三  
 鹽山鑛泉……………一六六

工(工)

大澤鑛泉……………一九  
 大白川温泉……………三三五  
 大嶽温泉……………六〇二  
 大津鑛泉……………三三七  
 大坪温泉……………五三七  
 大釣温泉……………四〇二  
 大牧温泉……………二二八  
 大藪鑛泉……………一八九  
 大湯温泉……………三七  
 岡部鑛泉……………三六二  
 奥津温泉……………四〇一  
 忍野鑛泉……………一六三  
 緒立鑛泉……………二  
 落合鑛泉……………八

オ(ヲ)

飯盛温泉……………(栃木)  
 伊香保温泉……………(群馬)  
 碓ヶ關温泉……………(青森)  
 幾春別温泉……………(北海道)  
 池の湯温泉……………(北海道)  
 石抱温泉……………(山形)  
 磯谷温泉……………(北海道)  
 磯部鑛泉……………(群馬)  
 板留温泉……………(青森)  
 板室温泉……………(栃木)  
 一の坂温泉……………(宮城)  
 一乃湯鑛泉……………(神奈川)  
 伊豆山温泉……………(静岡)  
 伊東温泉……………(静岡)  
 稻住温泉……………(秋田)  
 猪ノ田鑛泉……………(群馬)

今神温泉……………(山形)  
 入海鑛泉……………(福島)  
 岩尾別鑛泉……………(北海道)  
 五龍背温泉……………  
 釜ノ口温泉……………六〇一  
 兔口温泉……………四  
 海潮温泉……………三六四  
 白池鑛泉……………三三六  
 打波鑛泉……………二五八  
 内ノ牧温泉……………五八七  
 内山鑛泉……………一〇五  
 鵜泊温泉……………六三〇  
 鰻温泉……………五七  
 宇奈月温泉……………一九九

ウ



鬼岩温泉……………二七三  
 鬼ヶ嶽温泉……………四〇九  
 王母家温泉……………一三三  
 親湯温泉……………二八  
 折橋温泉……………六四  
 小天温泉……………五〇  
 岡松温泉……………六三  
 小川温泉……………一四  
 小川温泉元湯……………一五  
 雄琴温泉……………二九七  
 小澤鑛泉……………二七六  
 小瀬温泉……………一〇一  
 小谷温泉……………一四  
 小田温泉……………三六  
 小濱温泉……………五〇三  
 温水坪温泉……………六七八

温井院温泉……………六七三  
 温井洞温泉……………六八  
 温陽温泉……………六五  
 老神温泉……………(群馬)  
 鶯宿温泉……………(岩手)  
 應徳温泉……………(群馬)  
 大網温泉……………(栃木)  
 大澤温泉……………(岩手)  
 大澤温泉……………(静岡)  
 大鹽温泉……………(福島)  
 大鳥の湯場……………(東京府)  
 大瀧温泉……………(秋田)  
 大塚鑛泉……………(群馬)  
 大舟上温泉……………(北海道)  
 大舟下温泉……………(北海道)  
 大室温泉……………(群馬)

大湯温泉……………(秋田・雄勝)  
 大湯温泉……………(秋田・鹿角)  
 大鱈温泉……………(青森)  
 沖浦温泉……………(青森)  
 翁島温泉……………(福島)  
 沖野温泉……………(北海道)  
 忍山鑛泉……………(群馬)  
 押立温泉……………(福島)  
 雄阿寒温泉……………(北海道)  
 及川温泉……………(北海道)  
 男釜温泉……………(宮城)  
 小河内(鶴の湯)温泉……………(東京府)  
 鬼首の温泉……………(宮城)  
 小野川温泉……………(山形)  
 小原温泉……………(宮城)  
 小原鎌倉温泉……………(宮城)

小日向温泉……………(群馬)  
 折木鑛泉……………(福島)  
 折立鑛泉……………(宮城)  
 温根湯温泉……………(北海道)  
 温ノ原温泉……………(宮城)  
 川合田鑛泉……………三三三  
 海雲台温泉……………六六一  
 貝掛温泉……………四  
 皆生温泉……………三七八  
 海州温泉……………一七七  
 海州瀧温泉……………一七七  
 海門温泉……………五七七  
 角間温泉……………七  
 鹿教湯温泉……………九

力



關子嶺溫泉……………六五三  
 鐵輪溫泉……………四九九  
 寒の地獄……………六〇三  
 上林溫泉……………七〇  
 觀音溫泉……………六三一  
 觀音寺鑛泉……………三三  
 觀音湯鑛泉……………二二五  
 蒲田溫泉……………一五  
 蠣崎鑛泉……………(青森)……………  
 香草溫泉……………(群馬)……………  
 鹿澤溫泉……………(群馬)……………  
 甲子溫泉……………(福島)……………  
 金山溫泉……………(宮城)……………  
 銀山溫泉……………(山形)……………  
 蟹澤溫泉……………(宮城)……………  
 蟹の湯溫泉……………(秋田)……………

鎌先溫泉……………(宮城)……………  
 上ノ山溫泉……………(山形)……………  
 神岩鑛泉……………(北海道)……………  
 カルシウム鑛泉……………(群馬)……………  
 カル、ス溫泉……………(北海道)……………  
 川音鑛泉……………(福島)……………  
 川上溫泉……………(福島・信夫)……………  
 川上溫泉……………(福島・耶麻)……………  
 川上溫泉……………(北海道)……………  
 川上溫泉……………(樺太)……………  
 川汲溫泉……………(北海道)……………  
 川渡溫泉……………(宮城)……………  
 川治溫泉……………(栃木)……………  
 河津濱溫泉……………(靜岡)……………  
 川中溫泉……………(群馬)……………  
 川場溫泉……………(群馬)……………

籠坊溫泉……………三三七  
 笠置溫泉……………二九三  
 春日鑛泉……………二二四  
 潟口溫泉……………五五四  
 片山津溫泉……………二五一  
 勝見溫泉……………三六九  
 勝浦の溫泉……………三〇八  
 勝沼溫泉……………一六八  
 金桁鑛泉……………五三九  
 鉛山溫泉……………三三八  
 死かねた溫泉……………六七八  
 鐘釣溫泉……………二〇二  
 釜ヶ迫溫泉……………六三三  
 釜戸溫泉……………二七四  
 上高地溫泉……………一五一  
 上諏訪溫泉……………一〇九

雷溫泉……………六三三  
 上の島溫泉……………六五〇  
 紙屋溫泉……………四五三  
 上山田溫泉……………九一  
 龜川溫泉……………四六七  
 龜澤溫泉……………六三三  
 唐澤鑛泉……………一〇四  
 唐澤ウチ鑛泉……………一三三  
 川浦溫泉……………一七三  
 川底溫泉……………六〇二  
 川棚溫泉……………四三三  
 河内溫泉……………五三一  
 川湯溫泉……………三三三  
 河原湯……………六〇三  
 觀海寺溫泉……………四五六  
 軒仔崙溫泉……………六五七



栗川湯……………六四  
 久江鑛泉……………三七  
 串野溫泉……………六〇二  
 鯨波鑛泉……………三四  
 楠溫泉……………四五一  
 沓掛溫泉……………九三  
 葛溫泉……………一四四  
 熊入溫泉……………五二七  
 球摩川溫泉……………五四三  
 熊野鑛泉……………二二二  
 熊の川溫泉……………四九一  
 熊の湯溫泉……………七三  
 苦樂園鑛泉……………三四三  
 栗野岳溫泉……………六三八

ク

吳羽鑛泉……………二二一  
 黒川溫泉……………五九八  
 黒薙溫泉……………二〇〇  
 黒平鑛泉……………一八〇  
 草津溫泉……………(群馬)  
 草薙鑛泉……………(山形)  
 倶知安溫泉……………(北海道)  
 國澤溫泉……………(北海道)  
 國見溫泉……………(岩手)  
 熊の湯……………(北海道)  
 藏館溫泉……………(青森)  
 黒澤溫泉……………(北海道)  
 黒田溫泉……………(北海道)  
 黒山鑛泉……………(埼玉)  
 黒湯溫泉……………(秋田)

川古溫泉……………(群馬)  
 川俣溫泉……………(栃木)  
 川湯溫泉……………(北海道)  
 川原毛溫泉……………(秋田)  
 川原湯溫泉……………(群馬)  
 河原湯溫泉……………(宮城)  
 峨々溫泉……………(宮城)  
 我樂目嬉鑛泉……………(群馬)  
 輕川溫泉……………(北海道)

キ

貴志の湯……………三二五  
 北山鑛泉……………二〇五  
 木津溫泉……………二九一  
 城ノ崎溫泉……………三四六  
 木山溫泉……………六三三

京町溫泉……………六三一  
 錦溪溫泉……………二九四  
 金山溫泉……………六四八  
 錦繡溫泉……………二〇一  
 金峰鑛泉……………一七三  
 金龍鑛泉……………二七五  
 木賀溫泉……………(神奈川)  
 北溫泉……………(栃木)  
 北湯ヶ野溫泉……………(靜岡)  
 鬼怒川(大)溫泉……………(栃木)  
 清水鑛泉……………(群馬)  
 喜良市鑛泉……………(青森)  
 切明溫泉……………(青森)  
 霧積溫泉……………(群馬)  
 銀婚湯溫泉……………(北海道)



西明寺鑛泉……………二七  
 境田温泉……………六三三  
 榊原温泉……………三〇五  
 酒地鑛泉……………二二三

サ

小瀧鑛泉……………(栃木)……………  
 古奈温泉……………(静岡)……………  
 小鍋温泉……………(静岡)……………  
 駒の湯……………(北海道)……………  
 駒の湯温泉……………(宮城)……………  
 小谷温泉……………(福島)……………  
 小安温泉……………(秋田)……………  
 小涌谷温泉……………(神奈川)……………  
 強羅温泉……………(神奈川)……………  
 五色温泉……………(山形)……………

坂部温泉……………三〇四  
 嵯峨鹽鑛泉……………一六五  
 相良温泉……………五四二  
 櫻堂温泉……………二七三  
 裂石鑛泉……………一七〇  
 笹倉温泉……………六〇  
 笹子鑛泉……………一六四  
 砂石温泉……………五五二  
 狭野温泉……………六六六  
 三泉温泉……………六六八  
 西越鑛泉……………(青森)……………  
 嵯峨澤温泉……………(静岡)……………  
 作並温泉……………(宮城)……………  
 笹内温泉……………(青森)……………  
 笹ノ湯温泉……………(群馬)……………  
 札幌鑛泉……………(北海道)……………

ケ

夏油温泉……………(岩手)……………  
 源田鑛泉……………(福島)……………

コ

控溪温泉……………六五〇  
 碓氷温泉……………六四八  
 神の湊鑛泉……………五三三  
 河頭温泉……………五二八  
 黄金澤温泉……………二七二  
 國領温泉……………三五六  
 小齋温泉……………一五五  
 小澁温泉……………一三八  
 越の湯温泉……………三三六  
 壽温泉……………四三三

小濱温泉……………三九六  
 菰入湯……………五三三  
 菰野温泉……………三〇二  
 小屋原温泉……………三九四  
 越瀨温泉……………三二七  
 金剛山温泉……………六七五  
 合田鑛泉……………二二三  
 郷録温泉……………四〇七  
 五郷谿鑛泉……………四三四  
 御座石鑛泉……………一八七  
 五色温泉……………八五  
 御夢想温泉……………四七一  
 河内温泉……………(静岡)……………  
 桑折鑛泉……………(福島)……………  
 高野鑛泉……………(福島)……………  
 小玉川温泉……………(山形)……………



下ノ湯温泉……………三三  
 下部温泉……………一八一  
 上湯温泉……………六一  
 朱乙温泉……………六六  
 熊岳城温泉……………六八一  
 松禾温泉……………六七〇  
 礁溪温泉……………六四九  
 笙の音鑛泉……………二七七  
 初谷鑛泉……………一〇六  
 白木川内温泉……………五四五  
 白鷺温泉……………五三六  
 白鳥温泉……………六三三  
 白濱温泉……………三三五  
 白鬚温泉……………一七一  
 白骨温泉……………一五四  
 城ノ温泉……………六三三

城山鑛泉……………二八二  
 新宮鑛泉……………三三七  
 信川温泉……………六六六  
 新東郷温泉……………三七三  
 新保温泉……………二五九  
 新湯……………六二四  
 慈恩寺鑛泉……………五三四  
 儒城温泉……………六六三  
 成願寺鑛泉……………二八  
 城端鑛泉……………三三三  
 鹽川鑛泉……………(群馬)  
 鹽釜温泉……………(栃木)  
 鹽狩温泉……………(北海道)  
 鹽の平鑛泉……………(福島)  
 鹽の湯温泉……………(栃木)  
 鹽の湯鑛泉……………(福島)

猿倉温泉……………(青森)  
 澤乙鑛泉……………(宮城)  
 澤渡温泉……………(群馬)  
 三斗小屋温泉……………(栃木)  
 三本柳温泉……………(青森)

シ

鹽澤鑛泉(山梨)……………一九〇  
 鹽澤温泉(岐阜)……………二七一  
 鹽田温泉……………三四七  
 鹽津鑛泉……………二八四  
 鹽野鑛泉……………三〇〇  
 鹽ノ江温泉……………四三二  
 入乃波温泉……………二九六  
 鹽浸温泉……………六一九  
 鹽湯……………六二四

鹿の湯(岐阜)……………二七八  
 鹿の湯鑛泉(長野)……………一〇八  
 志學温泉……………三九一  
 四重溪温泉……………六五七  
 志太鑛泉……………二八三  
 七味温泉……………八六  
 七里田温泉……………六〇五  
 柴石温泉……………四六五  
 柴立温泉……………五六三  
 紫尾温泉……………五五四  
 澁温泉(長野・山内)……………六七  
 澁鑛泉(長野・北山)……………三二一  
 澁温泉(長野・下諏訪)……………一四  
 清水鑛泉(長崎)……………五〇一  
 下島温泉……………二六九  
 下諏訪温泉(長野)……………一一三



鹽原の温泉……………(栃木)……………  
 鹽谷温泉……………(北海道)……………  
 鹿の湯温泉……………(北海道)……………  
 鹿部温泉……………(北海道)……………  
 然別湖温泉……………(北海道)……………  
 志戸平温泉……………(岩手)……………  
 信夫高湯温泉……………(福島)……………  
 シバリ温泉……………(秋田)……………  
 澁黒温泉……………(秋田)……………  
 四萬温泉……………(群馬)……………  
 島ノ下温泉……………(北海道)……………  
 下賀茂温泉……………(静岡)……………  
 下内澤温泉……………(秋田)……………  
 下風呂温泉……………(青森)……………  
 下山鑛泉……………(山形)……………  
 下湯……………(青森)……………

宿野邊鑛泉……………(青森)……………  
 修善寺温泉……………(静岡)……………  
 白鳥鑛泉……………(福島)……………  
 白根温泉……………(群馬)……………  
 白布高湯温泉……………(山形)……………  
 知内温泉……………(北海道)……………  
 尻焼温泉……………(群馬)……………  
 新赤湯温泉……………(宮城)……………  
 新鹿澤温泉……………(群馬)……………  
 新車温泉……………(宮城)……………  
 新駒の湯温泉……………(宮城)……………  
 新五色温泉……………(山形)……………  
 新高湯温泉……………(山形)……………  
 新那須温泉……………(栃木)……………  
 眞湯温泉……………(岩手)……………  
 新湯……………(秋田)……………

ス

思拉堡温泉……………(栃木)……………  
 末廣温泉……………(群馬)……………  
 須賀谷鑛泉……………(群馬)……………  
 須川鑛泉……………(群馬)……………  
 杉生鑛泉……………(群馬)……………  
 筋湯温泉……………(群馬)……………  
 砂吹温泉……………(群馬)……………  
 砂湯……………(群馬)……………  
 摺ヶ濱温泉……………(群馬)……………  
 諏訪温泉……………(群馬)……………  
 諏訪山温泉……………(群馬)……………  
 水香園松の湯……………(東京府)……………  
 須川温泉……………(岩手)……………  
 酸ヶ湯温泉……………(青森)……………

セ

砂子澤温泉……………(秋田)……………  
 須卷温泉……………(栃木)……………  
 關温泉……………(群馬)……………  
 關金温泉……………(群馬)……………  
 積翠寺鑛泉……………(群馬)……………  
 關平湯……………(群馬)……………  
 瀨波温泉……………(群馬)……………  
 瀨領鑛泉……………(群馬)……………  
 仙人温泉……………(群馬)……………  
 關場温泉……………(群馬)……………  
 瀨ノ川日鑛泉……………(青森)……………  
 瀨見温泉……………(山形)……………  
 仙石原温泉……………(神奈川)……………  
 錢川温泉……………(秋田)……………



田野 鑛泉……………一六四  
 田の原 鑛泉……………五九七  
 田の平 鑛泉……………五〇〇  
 田の湯 鑛泉……………四五一  
 玉里 鑛泉……………六五五  
 玉造 鑛泉……………三六一  
 多屋 鑛泉……………二八六  
 足 鑛泉……………四〇六  
 垂玉 鑛泉……………五八二  
 依山 鑛泉……………四一九  
 湯崗子 鑛泉……………六八二  
 湯池溝 鑛泉……………六八四  
 湯池子 鑛泉……………六八〇  
 大王 鑛泉……………六三三  
 嶽本 鑛泉……………四七一  
 高雄股 鑛泉……………(栃木)……………

高崎 鑛泉……………(千葉)……………  
 高玉 鑛泉……………(福島)……………  
 鷹の湯 鑛泉……………(秋田)……………  
 鷹の湯 鑛泉……………(北海道)……………  
 寶川 鑛泉……………(群馬)……………  
 多賀下 鑛泉……………(宮城)……………  
 瀧澤 鑛泉……………(群馬)……………  
 瀧の上 鑛泉……………(岩手)……………  
 瀧の湯 鑛泉……………(北海道)……………  
 筍澤 鑛泉……………(山形)……………  
 田澤湖 鑛泉……………(秋田)……………  
 田代 鑛泉……………(青森)……………  
 田中 鑛泉……………(宮城)……………  
 谷川 鑛泉……………(群馬)……………  
 玉梨 鑛泉……………(福島)……………  
 玉山 鑛泉……………(福島)……………

ソ

草山 鑛泉……………六四  
 副田 鑛泉……………五五〇  
 外の湯 鑛泉……………三三三  
 曾原の湯……………一〇六  
 祖山 鑛泉……………三三〇  
 層雲峽の鑛泉……………(北海道)……………  
 總社 鑛泉……………(群馬)……………  
 底倉 鑛泉……………(神奈川)……………  
 袖ヶ澤 鑛泉……………(栃木)……………  
 大湯溝 鑛泉……………六六一  
 大正 湯……………一八八  
 高雄 鑛泉……………六五七

夕

高瀬 鑛泉……………六  
 鷹の巢 鑛泉……………九  
 寶塚 鑛泉……………三四二  
 田上 鑛泉……………一九  
 瀧 鑛泉……………二一七  
 武雄 鑛泉……………四九四  
 竹瓦 鑛泉……………四五一  
 武田尾 鑛泉……………三四〇  
 武智 鑛泉……………一三七  
 田澤 鑛泉……………九四  
 達泉 鑛泉……………六六九  
 辰ノ口 鑛泉……………三三〇  
 立科 鑛泉……………一八  
 立山 鑛泉……………二〇六  
 立山新 鑛泉……………二〇七  
 田中市 鑛泉……………四七一



臺 温泉 (岩手) .....  
大丸 温泉 (栃木) .....  
嶽 温泉 (福島) .....  
嶽 温泉 (青森) .....

千

煎子湯温泉 ..... 六六四  
知本温泉 ..... 六五五  
中宮温泉 ..... 三三六  
地獄温泉 ..... 五八四  
地獄谷温泉 ..... 七一  
持世寺温泉 ..... 四一六  
千倉温泉 (千葉) .....  
千島の温泉 (千島國) .....  
地奈多の湯 (東京府) .....  
地藏の湯 (群馬) .....

地藏湯温泉 (福島) .....  
地藏温泉 (北海道) .....  
定義温泉 (宮城) .....  
定山溪温泉 (北海道) .....

ツ

杖立温泉 ..... 五八八  
塚原温泉 ..... 四七三  
月岡温泉 ..... 一一  
椿温泉 ..... 三三〇  
津幡温泉 ..... 三三八  
燕温泉 ..... 五八  
鶴ノ湯温泉 ..... 一六三  
鶴ノ湯温泉 ..... 一六三  
頭川温泉 ..... 二五  
月ヶ瀬温泉 (静岡) .....

葛 温泉 (青森) .....  
土湯温泉 (福島) .....  
繫 温泉 (岩手) .....  
網島温泉 (神奈川) .....  
鶴の温泉 (北海道) .....  
鶴の湯温泉 (秋田) .....  
鶴巻温泉 (神奈川) .....

テ

寺泊温泉 ..... 二四  
寺町温泉 ..... 三六三  
天井官温泉 ..... 五  
天王温泉 ..... 三四五  
弟子屈温泉 (北海道) .....  
寺山温泉 (栃木) .....  
天 榮 湯 (福島) .....

天童温泉 (山形) .....  
天王寺温泉 (福島) .....  
出口温泉 (静岡) .....  
傳正寺温泉 (茨城) .....

ト

湯泉地温泉 ..... 三四  
湯池水温泉 ..... 六七八  
峠の湯 ..... 一〇七  
東郷温泉 ..... 三七三  
東萊温泉 ..... 六六〇  
戸倉温泉 ..... 八  
戸下温泉 ..... 五七八  
利波温泉 ..... 二二  
栃尾又温泉 ..... 三六



栃ノ木温泉……………五八〇  
 富尾ノ温泉……………五九  
 富ヶ丘鑛泉……………二四  
 友國鑛泉……………四三  
 烏ヶ谷鑛泉……………三六  
 東湯温泉……………六八〇  
 東埔温泉……………六五三  
 道後温泉……………四二五  
 土肥温泉……………(静岡)  
 遠刈田温泉……………(宮城)  
 登仙閣温泉……………(北海道)  
 塔の澤温泉……………(神奈川)  
 鑛別温泉……………(北海道)  
 洞爺湖温泉……………(北海道)  
 徳舜瞥温泉……………(北海道)  
 トコロ温泉……………(秋田)

吐鯤保澤温泉……………(樺太)  
 棚の湯温泉……………(秋田)  
 轟温泉……………(宮城)  
 途別温泉……………(北海道)  
 留ノ湯……………(北海道)  
 利根温泉……………(群馬)  
 豊富温泉……………(北海道)  
 堂ヶ島温泉……………(神奈川)  
 泥湯温泉……………(秋田)

十

内大臣鑛泉……………五八  
 中野温泉……………五四三  
 中野温泉(長野)……………七九  
 中野温泉(大分)……………六〇五  
 中の湯温泉……………一五三

中房温泉……………四四一  
 長門湯本温泉……………四二六  
 渚湯温泉……………三四  
 鯨泉……………二一〇  
 南郷鑛泉……………三〇〇  
 中川温泉……………(神奈川)  
 中の川温泉……………(福島)  
 中の澤温泉……………(福島)  
 中穂別温泉……………(北海道)  
 中山平温泉……………(宮城)  
 長岡温泉……………(静岡)  
 長澤温泉……………(北海道)  
 名栗鑛泉……………(埼玉)  
 梨木鑛泉……………(群馬)  
 那須の温泉……………(栃木)  
 鉈切鑛泉……………(千葉)

夏瀬温泉……………(秋田)  
 七澤鑛泉……………(神奈川)  
 鉛温泉……………(岩手)  
 滑川温泉……………(山形)  
 名山鑛泉……………(群馬)  
 成田温泉……………(北海道)  
 鳴子の温泉……………(宮城)  
 鳴子湯元温泉……………(宮城)  
 鳴澤温泉……………(岩手)  
 成東鑛泉……………(千葉)

二

丹生鑛泉……………三〇六  
 二月田温泉……………五六三  
 濁河温泉……………二六九  
 西温泉……………四五三



咳せがの湯……………五九五  
 萩原はぎ鑛泉……………一七二  
 白山はく鑛泉……………二二三  
 蓮太郎はすたろう鑛泉……………六三五  
 八山はちやま鑛泉……………四七一

ハ

野澤の鑛泉……………五二二  
 野地の鑛泉……………五二二  
 登別のぼりべつ鑛泉……………(北海道)  
 野谷の鑛泉……………五〇七  
 野澤の鑛泉……………八〇  
 乘政の鑛泉……………二六二  
 則松の鑛泉……………五二二

根羽澤ねはさわ鑛泉……………(群馬)

濱村はまむら鑛泉……………三六九  
 濱脇はまわき鑛泉……………四三三  
 林はやし鑛泉……………五三八  
 祖母谷そぼろ鑛泉……………二〇三  
 箱根はこねの鑛泉……………(神奈川)  
 畑下戸はたけおろ鑛泉……………(栃木)  
 畑毛はたけ鑛泉……………(静岡)  
 八丁はちぢょう鑛泉……………(栃木)  
 八町はちまちょう鑛泉……………(福島)  
 鳩の湯はと鑛泉……………(群馬)  
 鳩の湯はと鑛泉……………(秋田)  
 花敷はな鑛泉……………(群馬)  
 花卷はなまき鑛泉……………(岩手)  
 羽根澤はねざわ鑛泉……………(山形)  
 濱平はまひら鑛泉……………(群馬)  
 早戸はやと鑛泉……………(福島)

西山にしやま鑛泉……………一八四  
 二條にじょう鑛泉……………四三三  
 荷通にきりの湯……………一〇七  
 如法寺にっぽうじ鑛泉……………一二五

新關にんくわん鑛泉……………(宮城)  
 新見にんみ鑛泉……………(北海道)  
 新山にんざん鑛泉……………(山形)  
 濁川にじくがわ鑛泉……………(北海道)  
 西長岡にしながおか鑛泉……………(群馬)  
 西鉛にしな鑛泉……………(岩手)  
 西の澤にしのみ鑛泉……………(福島)  
 二庄内にじょうない鑛泉……………(青森)  
 仁世古にせこ鑛泉……………(北海道)  
 日光澤にっこうざわ鑛泉……………(栃木)  
 日中にちちゆう鑛泉……………(福島)

二度栗山にどりしやま鑛泉……………(埼玉)  
 仁伏にぶし鑛泉……………(北海道)

又

温湯ぬるま鑛泉……………八七  
 奴留湯ぬるま鑛泉……………五九五

沼尻ぬまじり鑛泉……………(福島)  
 温川ぬるか鑛泉……………(青森)  
 温湯ぬるま鑛泉……………(宮城)  
 微温湯ぬるま鑛泉……………(福島)  
 温湯ぬるま鑛泉……………(青森)

ネ

根堅ねかた鑛泉……………二八三  
 猫啼ねこな鑛泉……………(福島)  
 根崎ねさき鑛泉……………(北海道)



原市鑛泉……(群馬)……  
梅香溫泉……(樺太)……  
幡溪溫泉……(北海道)……  
磬梯溫泉……(福島)……

ヒ

東 溫 泉……………四三三  
東谷溫泉……………二〇五  
菱野鑛泉……………一〇三  
疥癬湯……………六〇一  
一重ヶ根溫泉……………一六〇  
日奈久溫泉……………五三〇  
日當山溫泉……………六三三  
日の出鑛泉(富山)……………二二三  
日の出溫泉(鹿児島)……………六三三  
姫城溫泉(鹿児島)……………六三七

平島溫泉……………三三三  
平山溫泉……………五三七  
平湯溫泉……………一五八  
蛭川鑛泉……………二七六  
廣田鑛泉……………三  
白狐溫泉……………二七四  
琵琶湖鑛泉……………三〇〇  
日景溫泉(秋田)……………  
東根溫泉(山形)……………  
東山溫泉(福島)……………  
肘折溫泉(山形)……………  
日山鑛泉(山形・南置賜)……………  
日山溫泉(山形・最上)……………  
美女谷鑛泉(東京府)……………  
白狐鑛泉(秋田)……………

深川溫泉……………四六六  
深谷溫泉……………三三八  
吹上鑛泉……………三三〇  
福島鑛泉……………三三二  
福光鑛泉……………三九七  
藤井溫泉……………一三六  
船小屋鑛泉……………五五六  
舟見鑛泉……………一九六  
古里溫泉……………五八八  
古湯溫泉……………四九三  
不老泉(大分)……………四三〇  
不老泉(鹿児島)……………六二七  
吹上溫泉(北海道)……………  
袋田鑛泉(茨城)……………

フ

福渡戸溫泉(栃木)……………  
蒸ノ湯溫泉(秋田)……………  
二股溫泉(福島)……………  
二股ラヂオ溫泉(北海道)……………  
船原溫泉(静岡)……………  
古町溫泉(栃木)……………  
別所溫泉……………九五  
別府の溫泉……………四三五  
別所鑛泉(神奈川)……………  
辨慶溫泉(北海道)……………  
辨天溫泉(栃木)……………  
寶泉寺溫泉……………六〇三

ホ



三朝温泉……………三七四  
 三島鑛泉……………三三  
 道之尾鑛泉……………五〇二  
 瑞穂温泉……………六五五  
 湊山温泉……………三四五  
 宮乃温泉……………三〇〇  
 宮の湯温泉……………一二二  
 宮原鑛泉……………三三三

三

又一温泉……………(秋田)……………  
 松ノ木鑛泉……………(青森)……………  
 松ノ湯温泉……………(群馬)……………  
 松山温泉……………(北海道)……………  
 丸駒温泉……………(北海道)……………  
 萬座温泉……………(群馬)……………

武藏温泉……………五三三  
 村杉温泉……………一六  
 村の湯温泉……………五六三

ム

妙見温泉……………六三三  
 妙高温泉……………四七  
 明礬温泉(大分)……………四六三  
 明礬温泉(鹿児島)……………六二八  
 美瑛温泉……………(北海道)……………  
 神瀧温泉……………(宮城)……………  
 峰温泉……………(静岡)……………  
 宮川温泉……………(北海道)……………  
 宮澤温泉……………(宮城)……………  
 宮の下温泉……………(神奈川)……………  
 美里別温泉……………(北海道)……………

寶來堂温泉……………五三三  
 法樂寺鑛泉……………二二六  
 北投温泉……………六四二  
 鉾投ノ湯……………六二四  
 星生温泉……………六〇一  
 星野温泉……………一〇二  
 法華院温泉……………六〇五  
 發哺温泉……………七五  
 穂波温泉……………七七  
 掘田温泉……………四五六  
 本澤温泉……………二二三  
 法師温泉……………(群馬)……………  
 幌加温泉……………(北海道)……………  
 母畑鑛泉……………(福島)……………  
 ポロムイ温泉……………(北海道)……………

マ

眞賀温泉……………四〇四  
 馬山温泉……………六七三  
 増富鑛泉……………一九一  
 増位温泉……………三四六  
 松崎温泉……………三七一  
 松原鑛泉……………一〇八  
 松之山温泉……………四〇  
 松ノ湯……………五二四  
 丸子鑛泉……………二八一  
 丸尾温泉……………六二四  
 丸田鑛泉……………五〇一  
 滿願寺温泉……………五九六  
 馬門温泉……………(青森)……………  
 幕の湯温泉……………(福島)……………  
 孫六温泉……………(秋田)……………



山田温泉(長野)……………八三  
 山田温泉(富山)……………二〇八  
 倭温泉……………一七五  
 山中温泉……………三三六  
 山梨灌漑泉……………一七四  
 山野温泉……………四二〇  
 山内の温泉……………六  
 山之湯温泉……………六四  
 山吹鑛泉……………三二  
 山伏温泉……………一六〇  
 鑛温泉……………一四七  
 谷川鑛泉(福島)……………  
 薬師山鑛泉(群馬)……………  
 矢熊温泉(静岡)……………  
 薬研温泉(青森)……………  
 八鹽鑛泉(群馬)……………

休石鑛泉(福島)……………  
 矢立温泉(秋田)……………  
 谷地温泉(青森)……………  
 谷津温泉(静岡)……………  
 藪塚鑛泉(群馬)……………  
 山越温泉(北海道)……………  
 山田温泉(北海道)……………  
 山ノ内温泉(北海道)……………  
 八幡温泉(栃木)……………  
 湯川内温泉……………五四  
 湯抱鑛泉……………三九  
 湯川温泉……………三七  
 湯崎温泉……………三八  
 湯澤鑛泉(長野上高井)……………八七

ユ

明治鑛泉(長野)……………一三〇  
 明治温泉(臺灣)……………六五  
 明治湯(福島)……………  
 女釜温泉(宮城)……………

モ

桃原鑛泉……………二六  
 藻岩鑛泉(北海道)……………  
 最上温泉(山形)……………  
 最上高湯温泉(山形)……………  
 元車湯温泉(宮城)……………  
 元湯温泉(秋田)……………  
 紅葉谷温泉(北海道)……………  
 森ヶ崎鑛泉(東京府)……………

門前温泉(栃木)……………

ヤ

藥師鑛泉(新潟)……………三  
 藥師温泉(大分)……………四五  
 彌次の湯温泉……………五六  
 矢田温泉(和歌山)……………三四  
 矢田鑛泉(新潟)……………二六  
 矢坪鑛泉……………八  
 柳温泉……………四五  
 耶馬溪鑛泉……………四五  
 藪波鑛泉……………三一  
 山川温泉……………五六  
 山鹿温泉……………五四  
 山崎温泉……………四七  
 山代温泉……………二四



湯之元温泉……………五五五  
 湯ノ山温泉(三重)……………三〇二  
 湯ノ山鑛泉(宮崎)……………六三七  
 湯原温泉……………四〇八  
 湯町温泉……………三八三  
 湯村温泉(山梨)……………一七七  
 湯村温泉(兵庫)……………三五三  
 湯村温泉(島根)……………三六五  
 湯山温泉……………五六六  
 湯涌温泉……………三三九  
 湯ヶ島温泉……………(静岡)  
 湯ヶ野温泉……………(静岡)  
 湯川温泉……………(岩手)  
 湯河原温泉……………(神奈川)  
 湯倉鑛泉……………(千葉)  
 湯倉温泉……………(宮城)

湯坂温泉……………(宮城)  
 湯澤鑛泉……………(群馬)  
 湯澤鑛泉……………(青森)  
 湯島温泉……………(群馬)  
 湯宿温泉……………(群馬)  
 湯瀬温泉……………(秋田)  
 湯田川温泉……………(山形)  
 湯段温泉……………(青森)  
 湯岐温泉……………(福島)  
 湯西川温泉……………(栃木)  
 湯野温泉……………(福島)  
 湯之網鑛泉……………(茨城)  
 湯野上温泉……………(福島)  
 湯ノ川温泉……………(青森)  
 湯ノ川温泉……………(北海道)  
 湯の小屋温泉……………(群馬)

湯澤鑛泉(長野・南佐久)……………一〇八  
 湯澤温泉(新潟・岩船)……………六  
 湯澤温泉(新潟・南魚沼)……………四  
 湯田温泉(山口)……………四三  
 湯田温泉(鹿児島・高城)……………五四七  
 湯田温泉(鹿児島・宮之城)……………五五三  
 湯田中温泉……………六二  
 湯谷温泉(岡山)……………四〇三  
 湯谷鑛泉(愛知)……………二八五  
 湯谷温泉(富山)……………二二七  
 湯谷温泉(鳥取)……………三六八  
 湯苗田鑛泉……………一七〇  
 湯野鑛泉……………四二  
 湯の浦温泉(新潟)……………一八  
 湯の浦温泉(熊本)……………五三三  
 湯の浦温泉(鹿児島)……………五五七

湯之尾温泉……………六二九  
 湯の川温泉……………三六六  
 湯之子温泉……………五三四  
 湯ノ郷温泉……………三九九  
 湯之島温泉……………二六三  
 湯の瀬温泉……………四二  
 湯の迫温泉……………三八八  
 湯の谷温泉……………五八五  
 湯の津温泉……………三九四  
 湯ノ坪温泉……………四七一  
 湯ノ出温泉……………五三五  
 湯之野温泉……………六一九  
 湯の原温泉(長野)……………一三四  
 湯ノ原温泉(大分)……………六〇六  
 湯の平温泉……………四七二  
 湯ノ峯温泉……………三九



吉尾温泉……………五七  
 吉岡温泉……………三六  
 吉方温泉……………三三  
 吉田温泉……………三〇  
 吉野温泉(奈良)……………二九  
 吉湯(山梨)……………一七  
 吉松温泉……………六七  
 米田温泉……………五九  
 養命温泉(秋田)……………  
 横川温泉(静岡)……………  
 横向温泉(福島)……………  
 吉奈温泉(静岡)……………

ラ

ラムネ温泉……………六五  
 雷電温泉(北海道)……………

立願寺温泉……………五八  
 龍岡温泉……………六七  
 龍神温泉……………三三  
 柳河温泉……………六八  
 龍門温泉……………六二  
 留邊蘂温泉(北海道)……………

ル

靈泉寺温泉……………九  
 靈潮泉……………四〇  
 蓮華温泉……………一七

レ

樂磨温泉(樺太)……………

リ

湯の澤温泉(草津)……………  
 湯の澤温泉(群馬・勢多)……………  
 湯の澤温泉(秋田・院内)……………  
 湯の澤温泉(山形・東田川)……………  
 湯の澤温泉(山形・南置賜)……………  
 湯の澤温泉(樺太)……………  
 湯之田温泉(福島)……………  
 湯の田温泉(山形)……………  
 湯の岱温泉(秋田)……………  
 湯の平温泉(群馬)……………  
 湯の花温泉(群馬)……………  
 湯の花温泉(福島)……………  
 湯の花温泉(神奈川)……………  
 湯野濱温泉(山形)……………  
 湯の原温泉(秋田)……………  
 湯の又温泉(秋田)……………

湯濱温泉(宮城)……………  
 湯原温泉(群馬)……………  
 湯檜曾温泉(群馬)……………  
 湯本温泉(箱根)……………  
 湯本温泉(日光)……………  
 湯本温泉(鹽原)……………  
 湯本温泉(那須)……………  
 湯本温泉(福島・岩瀬)……………  
 湯本温泉(福島・石城)……………  
 湯本温泉(秋田)……………  
 湯本温泉(岩手)……………  
 湯本温泉(北海道)……………

三

陽徳温泉……………六四  
 與崎温泉……………五〇



蓮臺寺温泉……(静岡)……

鷺來ヶ迫鑛泉……………(一)

ワ

若槻鑛泉……………(八六)

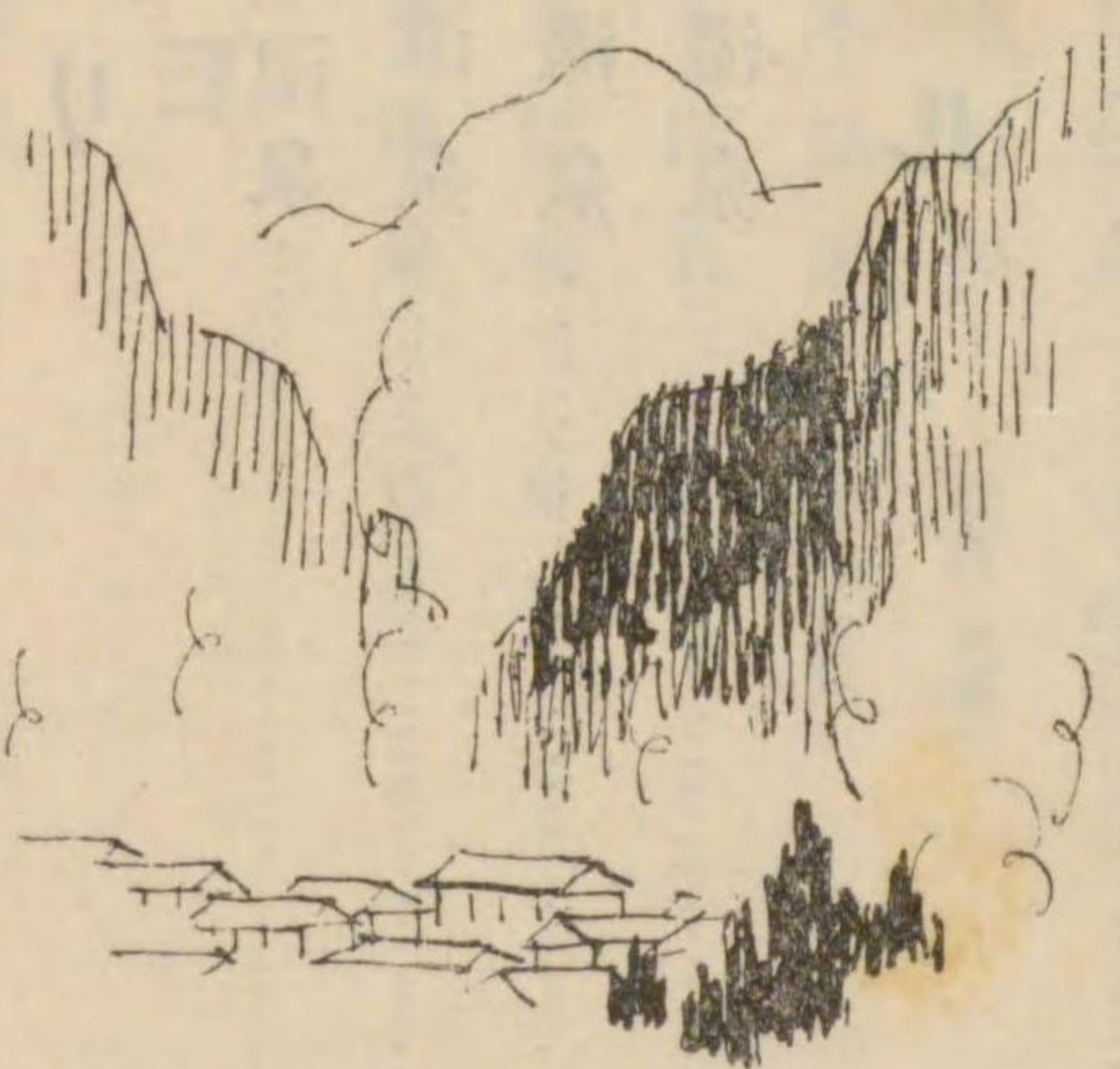
和倉温泉……………(三四)

若松温泉……………(北海道)

和琴温泉……………(北海道)

湯煙りや今日も晝啼くほととぎす  
山峡の湯の町戀しほととぎす

小次郎



(志村製本)

昭和五年七月五日印刷  
昭和五年七月十日發行

【定價金五圓】  
▲東部篇 金貳圓五十錢  
▲西部篇 金貳圓五十錢

不許複製  
日本温泉案内  
西 部 篇

編者 大日本雄辯會講談社  
發行者 野間清治  
印刷者 東京市下谷區二長町一番地  
凸版印刷株式會社

發行所

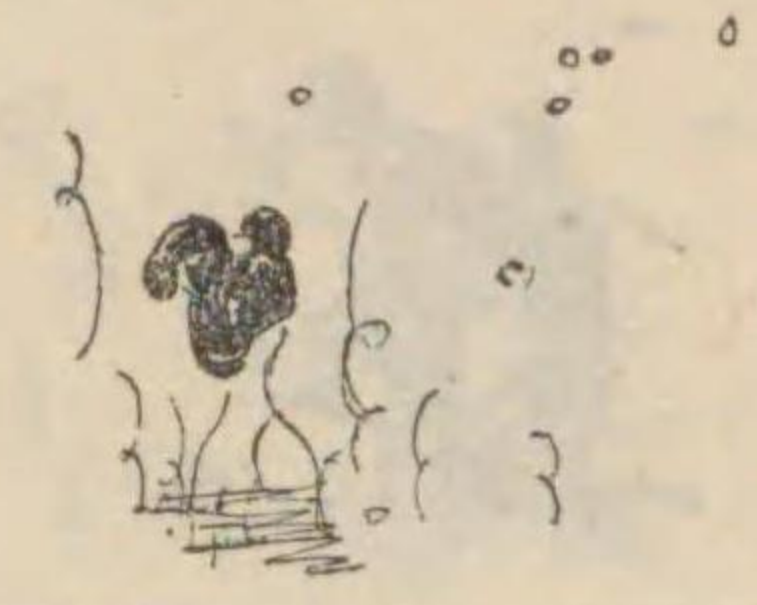
東京市本郷區駒込坂下町四十八番地  
大日本雄辯會講談社  
振替口座 東京三九三〇番

小電 小石川話 (85)  
0225  
0226  
0227  
0260  
1511  
3596  
5981  
6982  
7088  
7275  
1510





湯がへりの  
ま、や踊りの  
輪にまじる



時鳥  
鳴くや浴槽に  
月の影

信濃國淺間温泉  
**淺間ホテル**  
**たかの湯旅館**  
 電話(松本) 長二三八番  
 長五九六番  
 淺間温泉停車場前  
 待合所(電話専用)  
 泉質  
 ラヂウム泉

信州平穩村地獄谷温泉  
**旅後樂館**  
 竹節陸次  
 天然記念物地獄谷噴泉

信州淺間温泉  
 新館三層樓及四層樓風光絕佳  
 全國同盟旅館協會加盟旅館  
 茶代 辭退 **富貴之湯旅館**  
 玉突場、貸切湯  
 の設備あり  
 電話松本 長一五六番  
 長八七九番

大湯温泉  
**旅館組合**  
 新瀨縣北魚沼郡湯之谷村大湯  
 交通至便  
 風光明媚  
 客室清楚  
 待遇懇切  
 湧出豊富  
 宿料低廉  
 上越線小出驛より縣道三里自動車四十分  
**東榮館**  
**湯元館**  
**村上屋**

湯の宿や  
今知り合うて  
日永の甚



風薫る  
峠越ゆれば  
いでゆかな



羽越線村上驛  
**瀨波温泉**  
**大和屋旅館**  
 電話村上二一〇番  
 信州松本市外  
**淺間温泉**  
 茶代 辭退  
**桃の湯旅館**  
 電話松本二〇六番  
 居心地の好い閑靜な旅館  
 費用のかゝらない氣安い旅館  
 日本アルプスの眺望よき旅館

【赤ちやんの出来る湯】

新北 魚沼 縣 湯沼 郡 温泉

に暑避 縣 湯沼 新 北 郡 魚 沼 温泉 療養に

**栃尾又温泉**  
 湯元自 在館

【糖尿病を治す湯】

上越線小出驛より合乗自動車四分





湯の街や  
月に浮かる、  
春の人

信越本線戸倉驛下車  
自動車五分、千曲河畔の建築

戸倉温泉

湯元 笹屋ホテル

長野縣埴科郡戸倉村  
(電話長三番)

無色透明なる硫黄泉にしてリウマチス、  
胃腸病、皮膚病、婦人病等に適す。

「経済的で  
居心地のよき宿」

信州千曲河畔の上山田温泉

湯元 上山田ホテル

電話 五番

○信越線戸倉驛十五町、温泉案内贈呈  
善光寺参詣の途次御試浴を乞ふ。

備設 撞球場  
ピアノ室  
自炊貸間



永き日や  
山湯に急ぐ  
駕籠の客

信州 戸倉温泉  
旅館組合

通交

信越本線戸倉驛下車十三町  
中央線埴科驛下車二十五町  
長野上田より温泉まで乗合自動車運轉す  
效能、リウマチス、外傷、皮膚病、神経痛、胃腸病  
硫黄泉、各旅館に内湯あり、宿泊料低廉

乗合自動車  
の便あり

一、東は千曲川の清流に西は大運動場に接して冠着連山を望み眺望絶佳なり

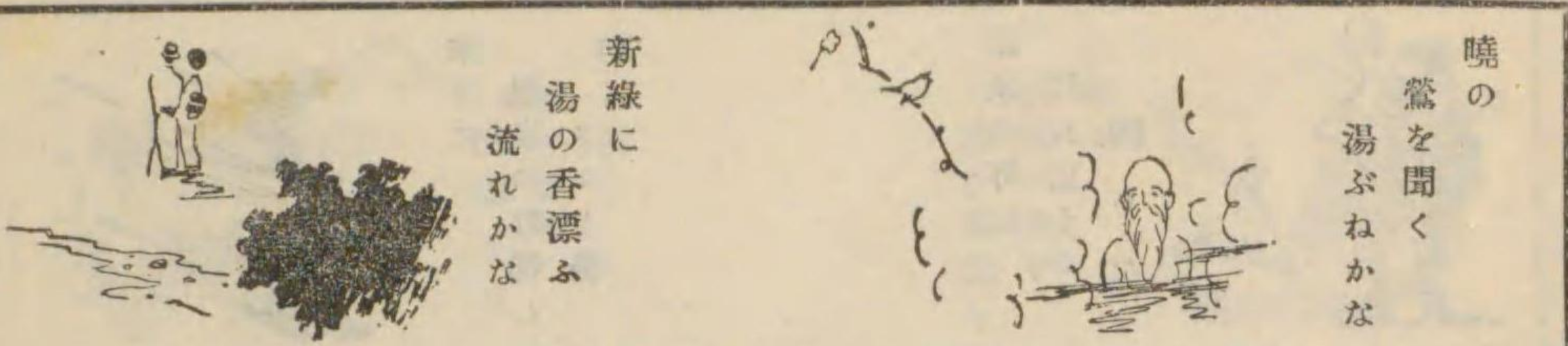
敷地は約五千坪

本館、別館、大中廣間、大浴場、展望浴場及浴場付貸別荘数棟あり

一、園内に温室、食堂、大月場其の他各種の娯樂設備各室に私設電話あり

上山田温泉  
清風園

電話上山田 十六番  
電話戸倉 三十六番  
(御申越次第御案内)  
(書御送付致します)



曉の  
鶯を聞く  
湯ぶねかな

新緑に  
湯の香漂ふ  
流れかな

信州湯田中温泉

長野驛より電車一時間

湯田中驛より三町

◎善光寺詣の御序に

是非御一浴を

鐵道省  
指定 萬屋旅館

電話長四三番

▼宿料二圓以上五圓、團體御相談を乞ふ  
▼別に低廉なる湯治所あり  
▼神無痛、リウマチスの名湯  
▼線内湯、貸切湯、蒸風呂、玉突あり

信州上諏訪温泉

布半木ホテル

電話長三一〇・五三三番

撞球場、寫真暗室、娛樂室、  
純洋室、貸切風呂、スケート  
用具などの設備があります。

登仙閣 親湯(巖)温泉

○信州諏訪郡北山村蓼科高原海拔一四、五〇〇米  
○諏訪の山の温泉中で一番高温の温泉  
○湧出量豊富なる故湯瀧及温泉大プール有り

○山紫水明の仙境、初秋の紅葉實に美し  
○頗低廉なる避暑及療養地、貸切浴室の設あり  
○八ヶ岳連峯及蓼科山(婦女子にも危険なく登れる  
高山八、三四九尺の高峯)登山の根據地

(信越線戸倉驛下車十五町)

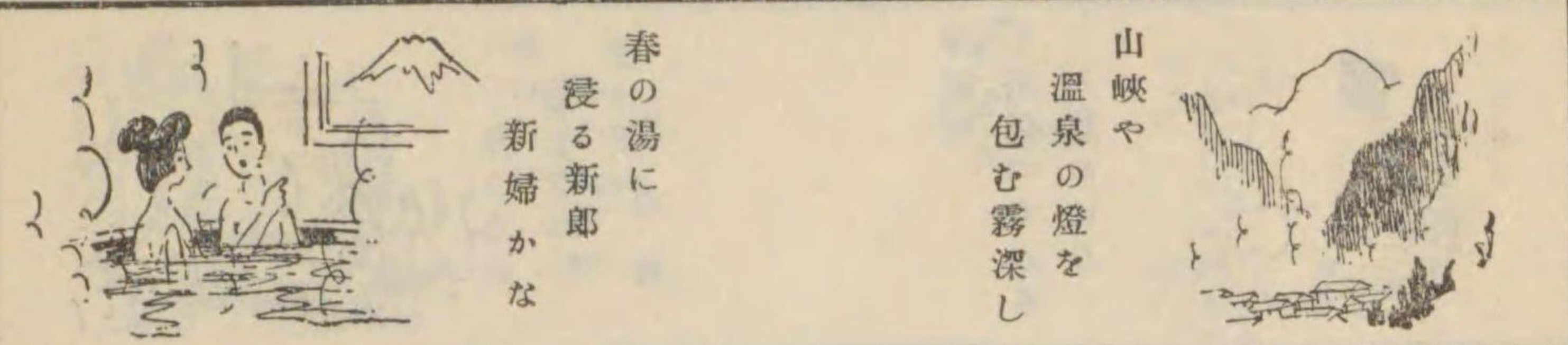
茶代廢止

湯元 瀧の湯  
旅館

電話三十番

◎紫外線浴室有り  
◎自炊貸間設備有り  
◎神経痛、リウマチス、骨傷、特效有り





身延参詣と  
下部温泉へは  
東海道線  
富士驛から……  
又は中央線  
甲府驛から……  
本線御利用が  
一番御便利です

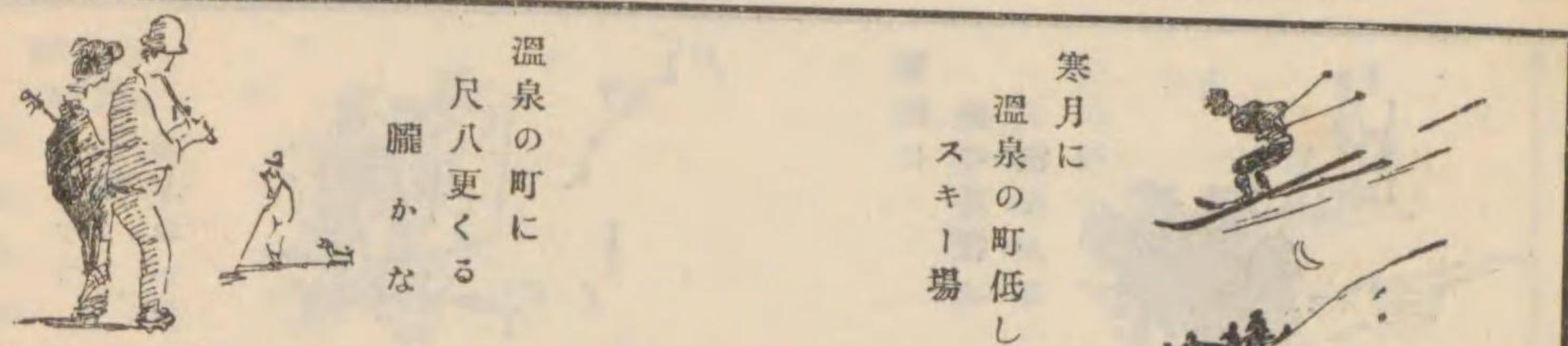
富士身延鐵道株式會社

温泉旅館

甲府市外湯村温泉  
對峰閣 内湯設備  
**富士野屋**  
電話 甲府一、八八二  
九六六  
天下の絶景御嶽身仙峽の通路  
甲府驛より二十町團體優待

甲州下部温泉

下部湯の本元  
武田信玄公入浴  
せしかくし湯  
古湯 源泉館  
弊館は甲斐の國主信玄公川中島の役に於て刀傷を蒙り  
入浴し日ならずして快癒す茲に於てかくし湯の稱あり  
効顯の著しき事下部温泉中第一の好評あり、客室三十  
餘、親切第一、費用低廉、居心地良き旅館、富士身延  
線下部驛下車八町、自動車人力車の便あり、甲斐の靈  
山身延山へ二里電車十五分、日歸り参拜自由、富士山  
五湖回遊の近道にして一日の靜遊に適す。



一、當地は富士の秀  
峰に對して展望  
絶佳、加ふるに  
探勝に避暑に避  
寒に好箇の清遊  
地として永久的  
大自然美を備へ  
て居ります。  
一、當館は桂川の  
流に溢み敷地  
廣大、湧出豊  
富にして、居  
心地よく親切  
第一  
費用低廉の  
理想的温泉  
旅館です。

富士山麓忍野温泉

芙蓉俱樂部

山梨縣南都留郡忍野村

中風名湯

信州  
鹿教湯温泉  
△動脈硬化高血壓ニ靈效アリ  
△専門大家佐多博士推奨  
△信越線大屋驛ヨリ自動車五十分  
交通至便經費低廉ノ仙郷  
齋藤旅館  
御一報次第内書呈贈

星野温泉

鐵道省指定旅館  
輕井澤唯一ノ天然温泉湧出  
四季好適ナル樂園、團體歡迎  
貸別荘三十、客室數十、大廣間、  
電話輕井澤五十二番  
信越線香掛驛ヨリ十三町  
乗合貨切自動車四分ニテ至  
本館別館

信州山田温泉

山田館  
信越線長野野驛ニテ長野電鐵乗替須坂下車  
自動車三十分 ○海拔三千餘尺、幽邃閑雅○  
鹽類泉、胃腸痔疾、婦人病、小兒脫腸等有效  
設備 内湯、別荘、庭球、大弓、スキー場  
三層樓四方眺望佳良、宿料一泊三食附  
金貳圓より。御一報次第内書送呈



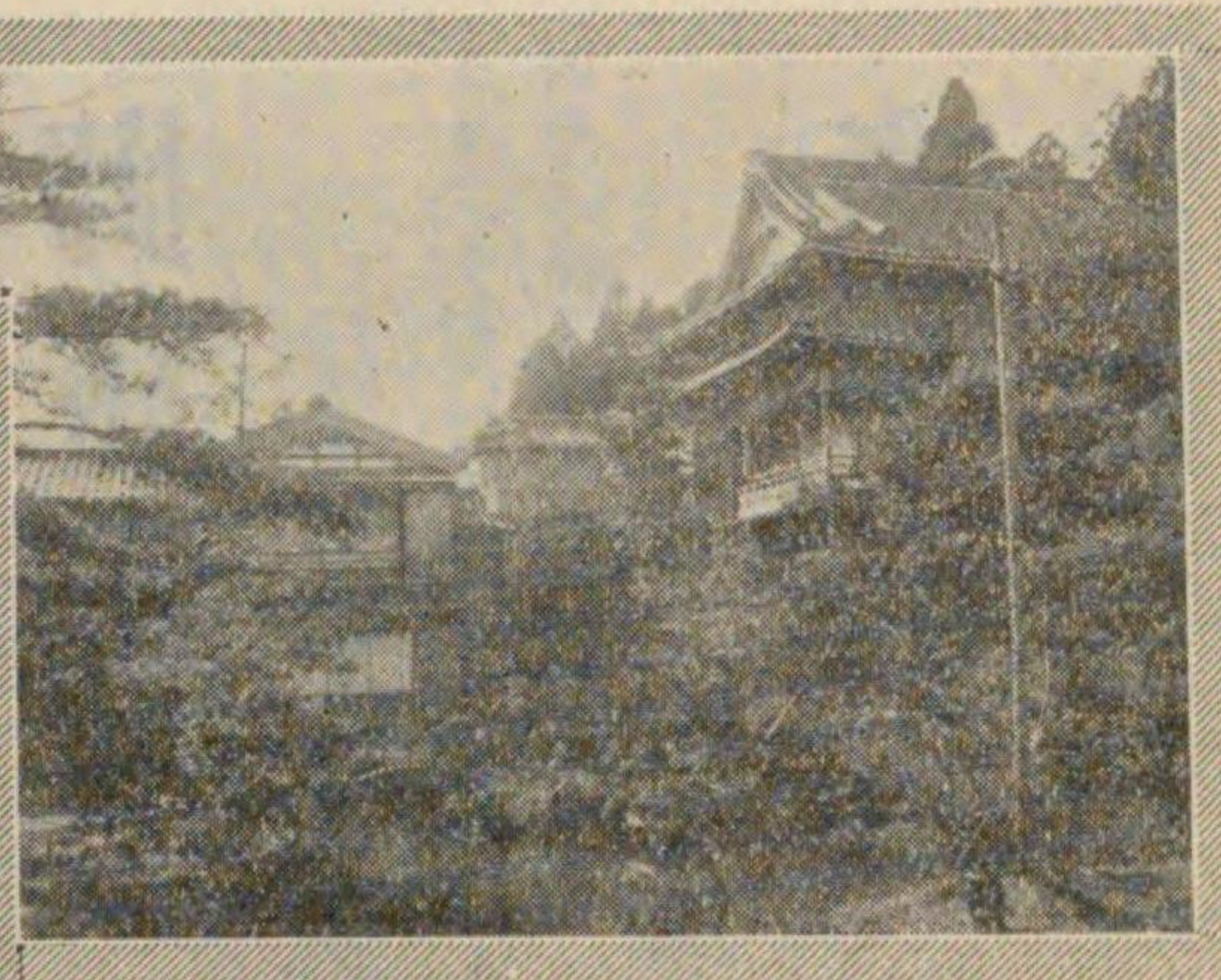
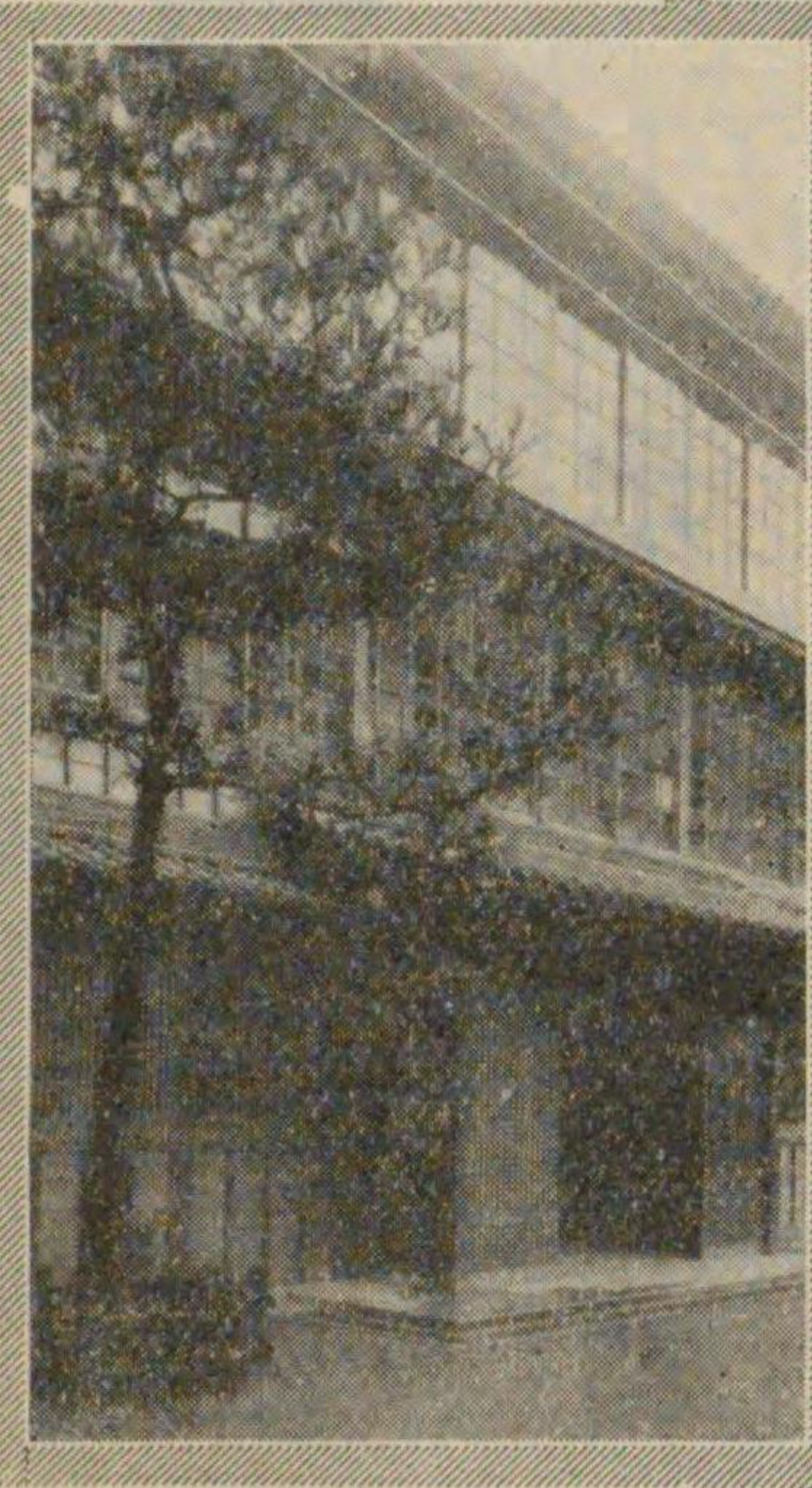


湯の朝や  
新妻賞める  
髪の出來



大雪や  
湯の窓近う  
寒牡丹

店本やのしよ



莊別二第やのしよ

# 加賀山中温泉

## よしのや本店

電話長 一七〇番

## よしのや

### 第一別荘

電話長 一番二〇番

### よしのや

### 第二別荘

電話長 四番



春雨を  
湯氣の中から  
眺めけり



湯の中の  
長き欠伸や  
春の雨

## 越 中 小川温泉

北陸線泊驛より自動車五分

天下の奇勝親不知に近く  
△ 山海の眺望絶佳  
温泉はラヂウム含有鹽類泉  
△ 効能諸病に顯著なり  
春の花、夏は海水浴、秋の紅葉、冬はスキー等遊覽と湯治に最適し、山崎元湯は泉鏡花先生の小説「湯女の魂」にて有名なり。

## 福 井 縣 芦原温泉

鐵道省御指定  
内湯旅館

## はいや

本館電話 七番  
別荘電話 二三番  
貸別荘電話 一五二番

別荘松風園には温泉附  
貸別荘數棟あり  
御家庭用には至極閑靜

## 越 中 山 田 温泉

越中最古(湧出發見文武帝御宇)  
藩主前田公歴代御入湯

幽邃閑雅の仙境

## 元湯 玄猿樓

自炊部完備至廉 電話八尾四一五三  
「飛越線」越中八尾驛より二里(乗合連絡)  
富山市より自動車五里(所要時間五十分)

## 北 倉 和 内 温泉

北陸線金澤驛より二時間 和倉驛著

## 柴 同 端 館

電話十四番(別館連接)  
客室臨海 風光明媚  
泉量豊富 効顯絶大

## 加賀粟津温泉

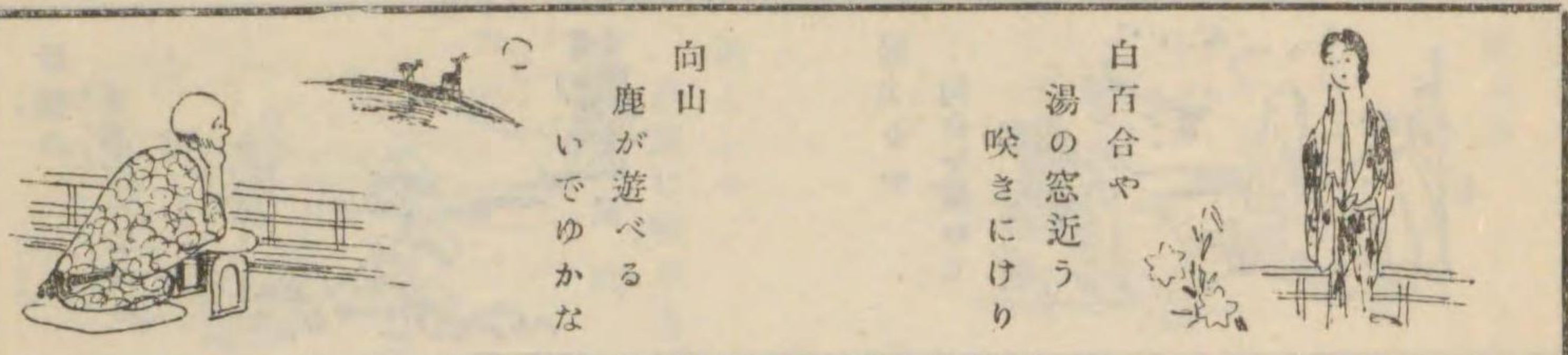
鐵道省指定

## 對岳館 山下旅館

電話長 五番

内湯旅館





加賀中山温泉

新築三階湯の山の眺望最佳  
内湯開湯  
宿料低廉緊縮第一主義奉仕  
湯 鷺 白

やろわた

電話(長)三八三番 電話(事務)三八三番

加賀中山温泉

別館 停緑山荘  
電話(三)番

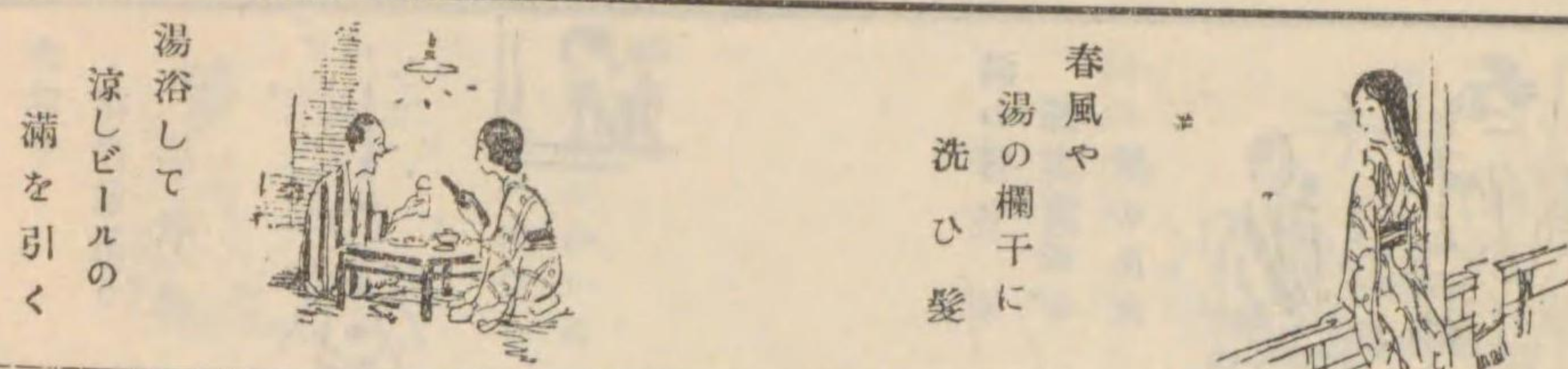
内湯旅館 三谷屋  
電話(長)三二四番

山代温泉

あらわ

電話(長)五九七番

信州別所温泉  
内湯旅館 柏屋別荘  
電話別所十二番  
四季入湯行樂の絶好地上田驛  
より三十分(電車自動車の便)  
(御申越次第案内書贈呈)



山中温泉 (内湯開設)

元扇子屋事

御旅館

五

明館

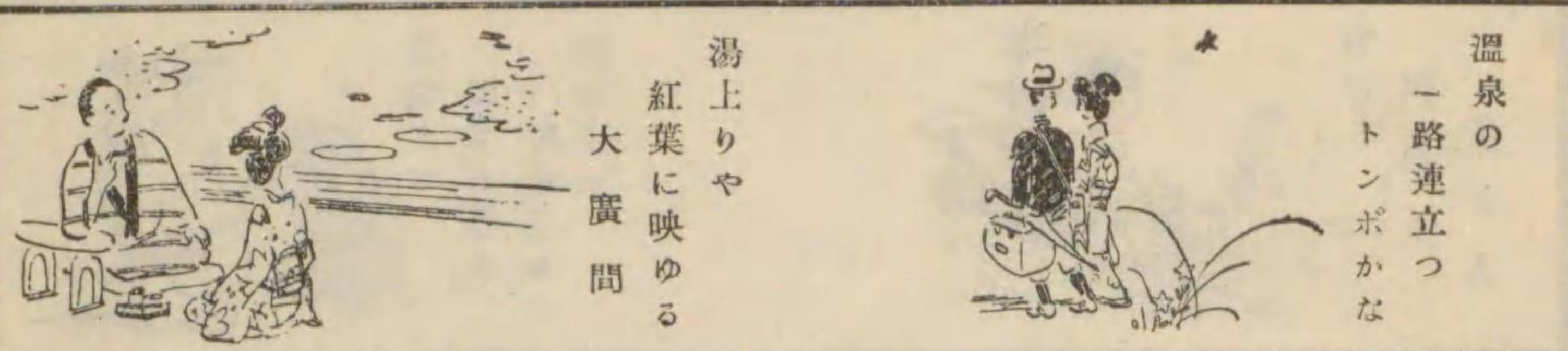
南保與七郎

電話長二番

弊館の特色

廣潤 閑靜  
眺望 懇待





湯上りや  
紅葉に映ゆる  
大廣間

温泉の  
一路連立つ  
トンボかな

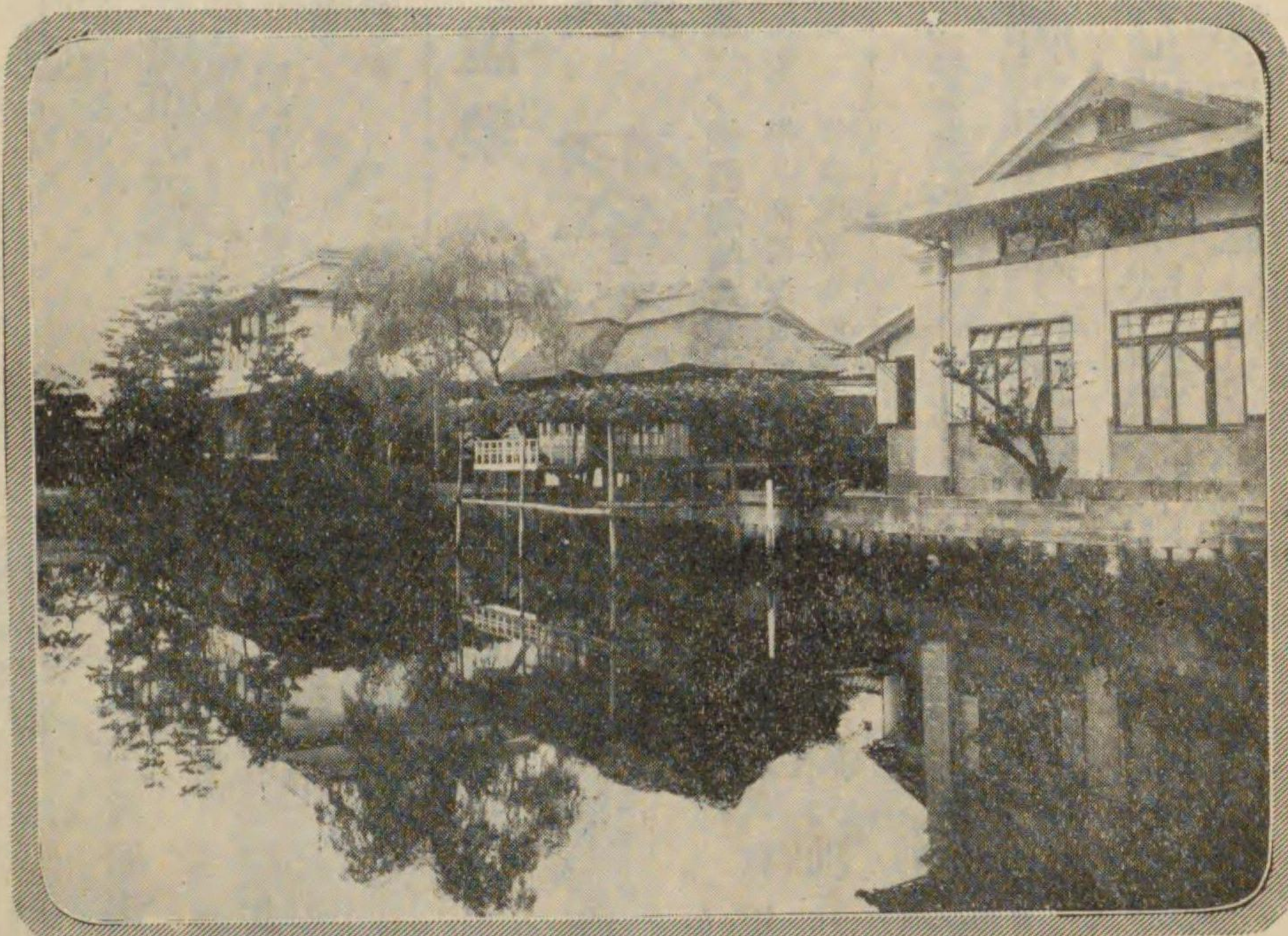
電話 八番  
番一

加賀山津温泉

**矢田屋**

創業 明治十年

館主 矢田松太郎



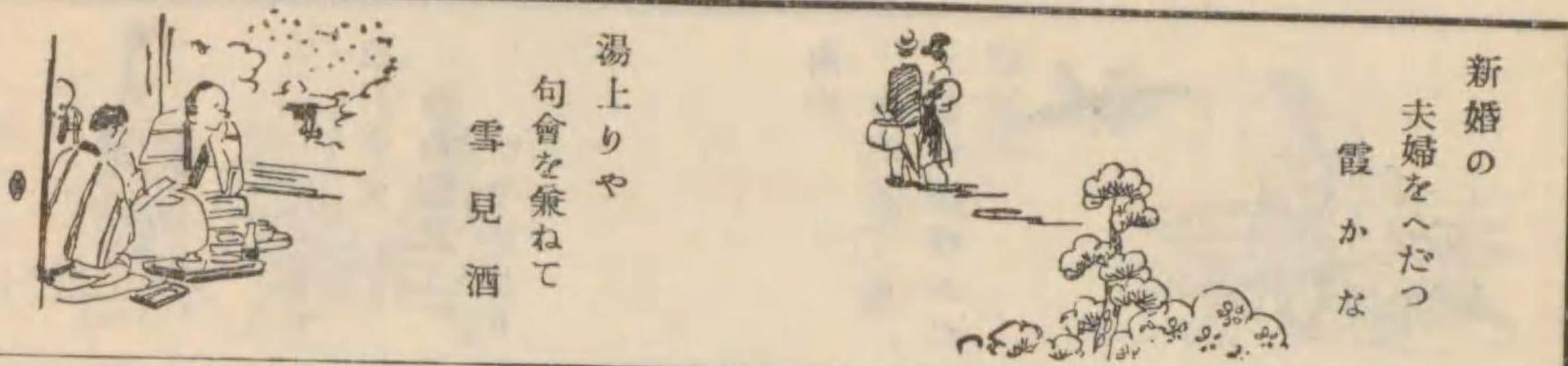
矢田屋旅館の一部

大廣間一室  
次ノ間付二十二室  
同ナシ七室  
計三十室  
収容力 約百人  
浴場 大二ヶ所 小三ヶ所  
洗面場 五ヶ所  
便所 六ヶ所  
電話設備 室内二十三個

◆特別設備  
 應接室一 理髮室一  
 化粧室三 寫眞暗室一  
 物産陳列場、玉突き臺、  
 ピンポン、屋上展望  
 臺一、茶亭、休憩場、  
 自動車一臺、ヨット  
 一艘、ラヂオ等の設  
 備あり

◆當館は片山津電車停留場  
 より二町、町の中央に位し  
 柴山湖水の畔に在り、閑靜  
 にして客室よりの眺望頗る  
 絶佳

◆附近海水浴場にも近く交  
 通至便なり



新婚の  
夫婦をへたつ  
霞かな

湯上りや  
句會を兼ねて  
雪見酒

大廣間には舞臺を新設す  
鐵道省指定旅館

加賀山津代  
**大のや旅館**  
電話 長六五五番

内湯にして特別湯の設あり  
御一報次第案内記進呈

加賀山代温泉

下車驛省線イブソバシ、  
電車、自動車の便あり

七福湯 **くらや旅館**

電話 長六四七番

源泉内湯、特別湯の設け有り  
山上一萬坪の大庭園  
山腹の高樓眺望佳絶

加賀片山津

鐵道省指定旅館

内湯 **東野旅館**

電話 七番・三十八番

客室皆柴山湖岸に接し風光明媚  
新築舞臺付大廣間・閑靜家族室





雪消えて  
温泉の春は  
賑はへり

### 赤島温泉旅館

海に山に、清遊に探勝に  
最も理想的な温泉地  
和歌山縣東牟婁郡勝浦町

### 紀州 白濱温泉

### 銀翠館

宿料三圓四圓 電話湯崎六番・六七番  
夏涼冬暖眺望壯大 温泉清澄温度好適  
白砂青松地俗塵無 海清麗海水浴絶好

### 紀伊龍神温泉

### 龍神温泉協會

山紫透明 避暑絶好  
南部田邊御坊より自動車の便あり

御參宮のおかへりには  
伊勢の仙境菰野湯の山温泉

### 内湯 旅館 壽亭

春、櫻花、新緑、時鳥  
夏、避暑、盛夏八十度  
秋、紅葉、スキー  
冬、雪見、西第一の景  
風光明媚、勝地なり

別館 水雲閣(壽樂莊内)  
松仙閣、對山閣  
望城閣、南別館  
大宴會場新築

兵庫縣有馬温泉  
山、川の別莊二箇所

### 内湯 旅館 池の坊

電話 三九二番  
二四二番  
一二九番



時ならぬ  
カルタはすむや  
温泉場



春運ぶ  
筧の花や  
湯槽まで

### 旅館 御所坊旅館

兵庫縣有馬温泉  
居心地の好い氣安い宿  
御泊りは是非私どもへ

電話 一拾五番番

### 内湯 旅館 中之坊

兵庫縣有馬温泉  
理想的 大廣間  
閑靜な小間數十室

電話 一〇七番番

### 城崎温泉

### かめや旅館

新装を誇る

電話特園七番

### 城崎温泉

□山陰本線城崎驛下車  
□城崎の中央一の湯前

### 詠歸亭 ゆきこや旅館

△玄武洞は玄武驛の對岸にあり天下に並びなき  
奇勝なり  
△大乘寺は香住驛の邊り森林中にあり應譽一派  
の繪畫を以て充たさる







大日本編 雄辯會編	大日本編 雄辯會編	大日本編 雄辯會編	大日本編 雄辯會編	大日本編 雄辯會編	大日本編 雄辯會編	大日本編 雄辯會編	大日本編 雄辯會編	大日本編 雄辯會編	大日本編 雄辯會編	大日本編 雄辯會編	大日本編 雄辯會編					
新井石禪師大講演集	道重信教師大講演集	高田早苗博士大講演集	下村宏博士大講演集	谷本富博士大講演集	中島徳藏氏大講演集	青年雄辯集	泰西雄辯集	模範的式辭 揆抄 五分間演說集	テ—ブル・スピーチ	逸話集	雄辯法講話					
禪師は近代禪門第一流の人、本書は燃ゆる熱誠の傾けたる大講演を輯む。言々是れ處世の要訣、生活の妙諦。	類廢せる近代文明の淨化を叫び、吾人の建設すべき新たな大光明の招徠を唱へる。烈々唯熱愛憂世の大喝破！	早大學園の者宿として崇敬せらるゝ博士が多、大隈侯の一臂として活躍せる當時の政治、經濟、教育、あらゆる方面に互る思ひ出多き講演記録。	新聞人としてその名天下に轟く博士が深遠なる學識と高邁なる抱懷とを披瀝して國際政治經濟等新日本の將來を説く。	博士独自の境地より新文化主義を鼓吹しめたる雄篇中の雄篇の大集録。	舌端火の如く、所論鐵の如く其の信念、其意氣、儒夫をも起たしめずんば止まず、聴け深遠なる倫理説を根柢とせる大卓見！	鶴見、蘆田、大井、森戸氏等、現代各方面に活躍せる新進諸家の學生時代に於ける處女演說出世演說中の粹を蒐む。	古今の偉人傑士が一世一代の血と涙と熱の大演說のみにして、一讀何人も感奮興起思はず拳を握らずには居られない。	腹案する所百數十篇悉く現代諸名士苦心のしめた名演說のみ。萬人必携の好著。	政治、軍事、商事、運動、社交——社會各方面に於ける有らゆる場合の卓上演說を擧ぐ。直ぐに役立つ萬人必携の寶典。	講演に演說に座談に、巧みに引用された逸話に對者に無限の感興を與へ説話をしたて益々生氣あらしめる本書は無上の至寶。	著者、多年の實驗と思索とは積つて本書を成す。あらゆる雄辯の法則を一々その演說例を擧げて細叙す。	思想あり、哲學あり、到る所大教訓に充てられたる生涯は小説より奇である。涙で築かれたる正確なる大立傳である。	獨裁首相として伊國を双肩に擔ふ彼の遺憾なく躍如す、眞に一代の大快著。	聽け黒シヤツ宰相の大獅子吼！祖國を救ひ新伊太利を建設せる革命演說四篇外全廿八篇、思想と熱と力の大交響樂。	自動車王フォードが敢然として勞銀主義を採りし熾烈なる奉仕の精神によつて世界的大發展を遂げたるその自叙傳。	今日及明日
函布四六 入裝判	函布四六 入裝判	函布四六 入裝判	函布四六 入裝判	函布四六 入裝判	函布四六 入裝判	函布四六 入裝判	函布四六 入裝判	函布四六 入裝判	函布四六 入裝判	函布四六 入裝判	函布四六 入裝判					
二、〇〇	一、八〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇					

大日本編 雄辯會編	大日本編 雄辯會編	大日本編 雄辯會編	大日本編 雄辯會編	大日本編 雄辯會編	大日本編 雄辯會編	大日本編 雄辯會編	大日本編 雄辯會編	大日本編 雄辯會編	大日本編 雄辯會編	大日本編 雄辯會編	大日本編 雄辯會編					
新井石禪師大講演集	道重信教師大講演集	高田早苗博士大講演集	下村宏博士大講演集	谷本富博士大講演集	中島徳藏氏大講演集	青年雄辯集	泰西雄辯集	模範的式辭 揆抄 五分間演說集	テ—ブル・スピーチ	逸話集	雄辯法講話					
禪師は近代禪門第一流の人、本書は燃ゆる熱誠の傾けたる大講演を輯む。言々是れ處世の要訣、生活の妙諦。	類廢せる近代文明の淨化を叫び、吾人の建設すべき新たな大光明の招徠を唱へる。烈々唯熱愛憂世の大喝破！	早大學園の者宿として崇敬せらるゝ博士が多、大隈侯の一臂として活躍せる當時の政治、經濟、教育、あらゆる方面に互る思ひ出多き講演記録。	新聞人としてその名天下に轟く博士が深遠なる學識と高邁なる抱懷とを披瀝して國際政治經濟等新日本の將來を説く。	博士独自の境地より新文化主義を鼓吹しめたる雄篇中の雄篇の大集録。	舌端火の如く、所論鐵の如く其の信念、其意氣、儒夫をも起たしめずんば止まず、聴け深遠なる倫理説を根柢とせる大卓見！	鶴見、蘆田、大井、森戸氏等、現代各方面に活躍せる新進諸家の學生時代に於ける處女演說出世演說中の粹を蒐む。	古今の偉人傑士が一世一代の血と涙と熱の大演說のみにして、一讀何人も感奮興起思はず拳を握らずには居られない。	腹案する所百數十篇悉く現代諸名士苦心のしめた名演說のみ。萬人必携の好著。	政治、軍事、商事、運動、社交——社會各方面に於ける有らゆる場合の卓上演說を擧ぐ。直ぐに役立つ萬人必携の寶典。	講演に演說に座談に、巧みに引用された逸話に對者に無限の感興を與へ説話をしたて益々生氣あらしめる本書は無上の至寶。	著者、多年の實驗と思索とは積つて本書を成す。あらゆる雄辯の法則を一々その演說例を擧げて細叙す。	思想あり、哲學あり、到る所大教訓に充てられたる生涯は小説より奇である。涙で築かれたる正確なる大立傳である。	獨裁首相として伊國を双肩に擔ふ彼の遺憾なく躍如す、眞に一代の大快著。	聽け黒シヤツ宰相の大獅子吼！祖國を救ひ新伊太利を建設せる革命演說四篇外全廿八篇、思想と熱と力の大交響樂。	自動車王フォードが敢然として勞銀主義を採りし熾烈なる奉仕の精神によつて世界的大發展を遂げたるその自叙傳。	今日及明日
函布四六 入裝判	函布四六 入裝判	函布四六 入裝判	函布四六 入裝判	函布四六 入裝判	函布四六 入裝判	函布四六 入裝判	函布四六 入裝判	函布四六 入裝判	函布四六 入裝判	函布四六 入裝判	函布四六 入裝判					
二、〇〇	一、八〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇					



近藤雨編	谷素文著	安田四郎著	谷孫六著	大瀧馬著	北島男著	谷孫六著	井關十一郎著
社會萬般番附大集	川柳漫畫 うき世さま	株式市場の表裏	金儲け實際談 岡辰押切り帳	三井王國	歐米大人物立志傳	孫六錢話	現代立身成功の近道
政治、人事、實業、地理、歴史、演藝、文藝、社會のありとあらゆること何人にも一目瞭然！	素文先生獨特の川柳漫畫千五百有餘、諷刺あり諧謔あり、ヒーンと頭心を刺す深き刻な世間味は一讀現世の苦を忘れさせる	著者は稀世の財界通として、斯界の權威に説く。市場の表裏取引の實際を率直に詳細に説く。財界活躍の活指針。	著者多年の研究に於けるものにして、誰れにも實行出来る幾多の金儲け法を知らずし、の内に會得せしむ。	著者は材料を蒐むること幾星霜、幾多の事件と巨人的大活動の過去及現在を描く。三井の經濟的大活動の過去及現在を描く。	現代歐米の大實業家、發明家等の苦心慘憺たる奮闘傳。東京高師内若溪會よりも推奨された名著である。	スグ應用出来る實際談です。金儲利殖の極意秘傳です。成程斯うすれば金が貯る。儲かる、生きて働く。	「就職難」「生活難」「成功難」に悩む人々へ、その難を打開し成功せんとするに極めて大切な實際心得を懇切に説く。
函布菊入装判	函洋四六入装判	函洋四六入装判	函洋四六入装判	函洋四六入装判	洋四六装判	函四六判入	函布四六入装判
三、〇〇、一六〇	二、三〇、一、二〇	一、八〇、一、〇〇	一、八〇、一、二〇	二、〇〇、一、二〇	一、八〇、一、〇〇	一、五〇、一、二〇	一、八〇、一、二〇

佐藤鐵太郎著	大日本雄辯會編	伯田顯中著	杉山丸著	杉山丸著	久石馬木著	林太郎著	林太郎著
新日本への道	明治大帝	維新風雲回顧録	俗戰國策	百魔	人物論 政界縦横記	明治大正 政界側面史	日本政黨史
我が國體の眞に優秀なる理を明かにし、天下同胞の一大自覺を喚起せんとす。見満よ！大日蓮の絶叫にも比すべき大文章！	大帝側近奉仕の顯官名士、大奥女官等舉の御英姿宛ながら眼前に躍るもの。大帝の御英姿宛ながら眼前に躍るもの。	愛國慨世の志士英傑の活躍の跡歴然！伯田の先輩烈士と共に砲煙彈雨の眞只中、回天の大業を補翼せる當時の活記録。	著者は明治大正の偉人巨傑と交遊し、揮ふ驚倒の大事に参畫して、波瀾萬丈の回顧録。	波瀾に波瀾を重ねたる明治大正年代を背景として、幾多の俊英丈夫熱血漢の眞面目を描く。著者苦心の大傑人傳。	大隈、伊藤、山縣の諸元老より現代政界の巨頭を一々痛快に評し、縦横の筆と多趣味の題材愈感興深し。	明治維新後の政界の變遷や、西郷木戸大久保等を初め、元勳の活躍、藩閥軍閥財閥の葛藤の裏面、側面を描く。	日本一の政界通たる著者が、國會開設、政黨の消長、五十有餘回議壇上の波瀾、等、微に入り細に互つて真相を叙す。
函ク四六判入	美羽四二六本重判	函洋四六入装判	函布四六入装判	函洋四六入装判	函洋四六入装判	函布四六入装判	函布四六入装判
二、〇〇、一、二〇	五、〇〇、二、四〇	二、〇〇、一、四〇	二、五〇、一、六〇	正、續篇各一、七〇、一、四〇	二、二〇、一、二〇	三、〇〇、一、四〇	上卷三、八〇、下卷三、五〇



岡本平著	山本太郎著	佐々木邦著	佐々木邦著	佐々木邦著	佐々木邦著	佐々木邦著	佐々木邦著
漫畫小説	新	脱線	愚弟賢兄	世間相人間相	親鳥子鳥	主權妻權	次男坊
三百有餘の名漫畫に配する奇想天外の名面白きこと天下無比。	若い陸軍士官と花やかな麗人との縁談ロマンティックな滑稽小説。	近代的令嬢秀子と新太郎君と素敵に美しい面白諧謔小説。	愚弟賢二君の就職、結婚問題を先生獨特のユーモアを以て綴られる肩凝らない小説。	ユーモア文學の權威者たる佐々木邦先生が眼を觸れ耳にした物を片端から其快筆で描いたもの。挿繪二十數葉入。	敏感な主人公として其の家庭の和氣霽源太郎を主人公として其の家庭の和氣霽露たる雰圍氣を描く。	女性禮讚の時代精神を一人前以上に持ち合わせた現代青年の美人國寶論や夫婦愛の内情話等を描く。	素封家の次男坊を主人公とし、是れに慾張村長、豪傑校長、良友、美人を配し活社會の種々相を遺憾なく描く。
函羽四二六入重判	函洋四六入裝判	函布四六入裝判	函布四六入裝判	函布四六入裝判	函羽四二六入重判	函羽四二六入重判	函ク四六入重判
二、二〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、三〇	二、〇〇	二、二〇	二、〇〇

行發社談講會辯雄本日大

曙前山田著	浪村六上著	長小三泉著	英吉治川著	英吉治川著	美本禪田著	美本禪田著	美本禪田著
大望	妙法院勘八	だ、つ兒羅漢	坂東俠客陣	劔難女難	血染の伽羅	亂れ焼及	お洒落狂女
徳川の末葉白蓮院と呼び若き美貌の後室が燃ゆるやうな戀を中心に描かれたる一大復讐物語。	俠骨妙法院勘八、六尺の反身に思ふ存分快腕を振つて向ふ所敵なき豪勇と膽力！此の人を廻る戀の情火。	大納言忠長卿の遺子長七郎事羅漢七郎が驚天動地の活躍を見よ！遂に南蠻に渡つてその覇業を全うせんとする。	剣道眞庭流の宗家に傳はる秘文を中心に捲き起されたる驚天動地の大渦巻！幾多の劔士俠客入亂れて幾變轉。	優艶怪奇寸時も休む間もなく取巻く愛慾男新九郎の數奇なる運命は如何に！	三十人の武藝者を彼方に廻してビクともせぬ勇士！之を戀する絶世の美女あり凄惨なる場面續々と展開！	風俗靡爛せる享保後の大江戸を背景として、美しき姉妹の戀を主題に、女子の如き美男を配した長篇力作。	爛熟せる江戸文化の桃源に咲き誇れる美しき女性を中心に描き出したる前代未聞の大歴史小説。
函洋四六入裝判	函布四六入裝判	函洋四六入裝判	函洋四六入裝判	函洋四六入裝判	函ク四六入裝判	函洋四六入裝判	函洋四六入裝判
二、三〇	二、二〇	二、五〇	二、四〇	二、五〇	前、後篇各一、八〇	後篇三、二〇	中、下卷二、五〇

行發社談講會辯雄本日大



紅佐 藤著 線著	花田 山著 袋著	英吉 治著 川著	武加 藤著 雄著	澤田 謙著 謙著	卯柚 馬著 木著	東宮 峰著 田著	東宮 峰著 田著
東西婦人觀	花袋行脚	神州天馬俠	君よ知るや南の國	少年プリューターク英雄傳	發明美談	ハーモニカ樂譜	ハーモニカ奏法
名流婦人、賢婦人、モダンガールにドン底の女性等々縦横に解剖し、觀察し、該博なる蘊蓄と卓抜なる識見とを披瀝す。	史蹟名勝に富める京都奈良を中心として近畿四國中九州等に至るまで杖を運びてものせる旅行記。類書中隨一の名著。	勝頼の遺子伊奈丸が、富士の裾野に武田家の再興を企てた壯烈の一大秘史！今三國史とも稱せられる不朽の名著。	音樂の天才まり子は上京、作曲家内山氏を訪れた。然るにすげなく彼は拒絶した。何故！そこには悲しい秘密がある。	英雄たらんとせば先づ英雄を知れ、本書は實にナポレオン等の西歐の偉人傑士皆愛讀せりといふ名著である。	知らず識らずに非常な物識りになる面白さ。發明見物語、珍しい逸話や寫眞がどつさり這入り素敵によい本です。	國歌の部、歌謡の部等輯むる歌曲百數十種、而も宮田先生の注意を附けたもの。とにその吹奏上の注意を附けたもの。	ハーモニカはどんなものか、どうすれば直ぐ覚えられるか、必ず上手になれる練習法等を親切丁寧に書いた本。
函布四 六 入裝判	函洋四 六 入裝判	函洋四 六 入裝判	函羽四 二六 入重判	洋四 六 裝判	函優四 六 入美判	函洋四 六 入裝判	函洋四 六 入裝判
一、 〇、 〇	一、 〇、 〇	第一、二卷 一、 〇、 〇 第三卷 一、 〇、 〇	一、 〇、 〇	一、 〇、 〇	一、 〇、 〇	一、 〇、 〇	一、 〇、 〇



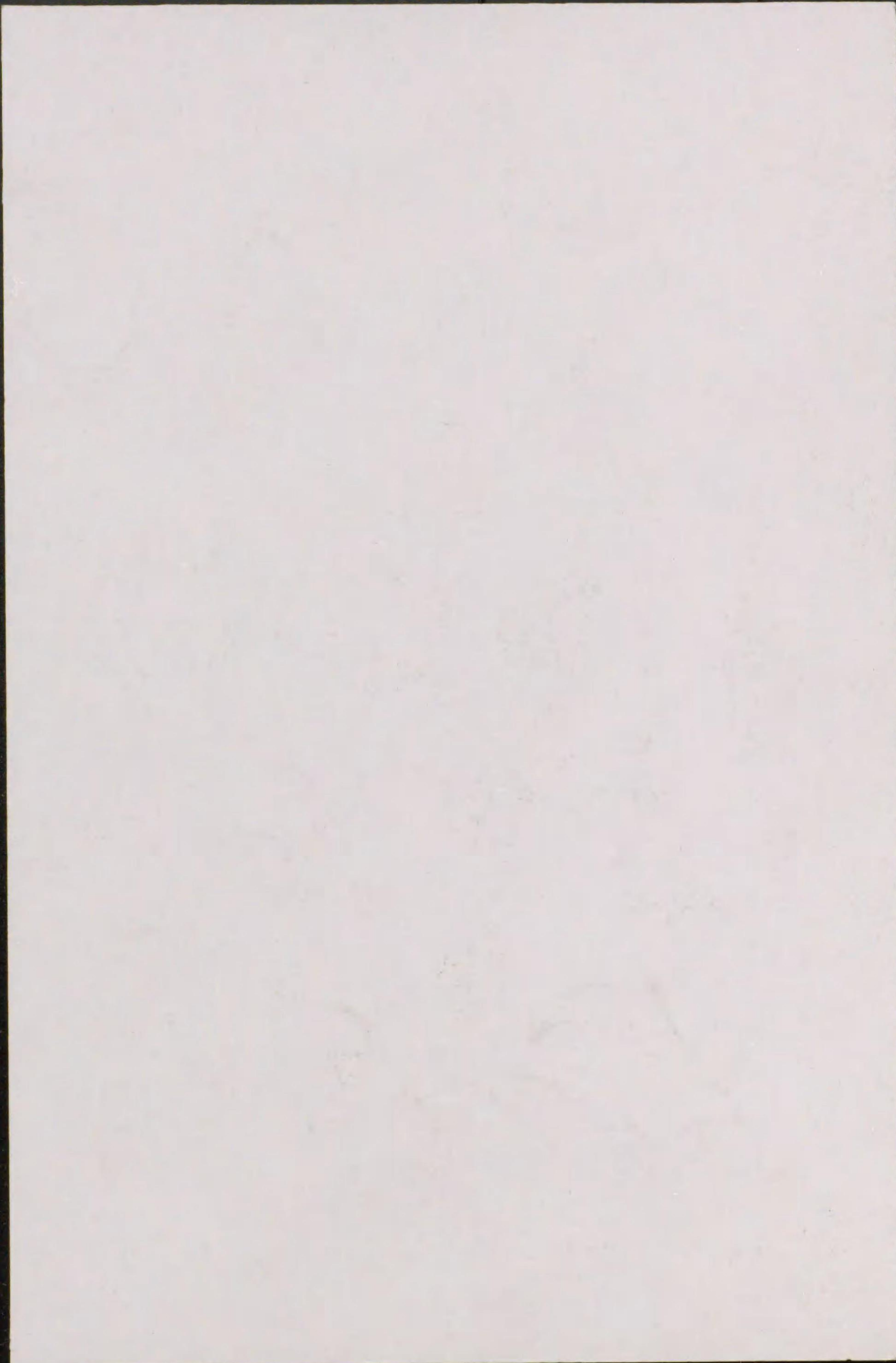
578  
288

5年 7月 28日


調查濟

Handwritten notes and scribbles on the left page, including numbers and illegible characters.





編社談講會辯雄本日大

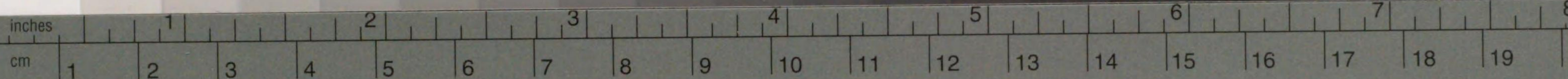


# Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

**A** 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



# Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

